夕刊
満洲日報
九月十五日
發行兼編輯人 木下山 印刷人 鈴木太郎 ……
發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社滿洲日報社

英米の軍縮内交渉と注目さる日本の態度
巡洋艦割當七割を極力主張 國防上の最少限度

【東京十五日發電】英米軍縮内交渉の進展に伴ひ愈々日本の軍縮に對する態度が世界注視の的となつて來たのであるが、日本の態度は數次の海軍首腦部の凝議に依つて大體次の如く決定されて居る
一、主力艦の艦齡延長、艦型の縮小を主張する事
但し目下英米間に於ける千九百三十一年の建艦期を五ヶ年繰下げて千九百三十六年迄建艦延期する事には敢て反對せざる事
二、巡洋艦殊に一萬噸八インチ砲巡洋艦に於いては英米の七割を確保する事
三、驅逐艦及び潜水艦等の小艦は國情により相當多量に保有する事殊に潜水艦に至つては英米に對し同率を主張する事
四、全體として制限より縮小する事
右の内七割主張は國防上安全の最少限度として強硬に唱へられて居る處であつて此の主張が容れられざる場合には會議決裂の責めを負ひても辭せぬと言つて居る程である

日英米で内交渉か
重大視される日本の七割主張 提案あれば欣諾する

【東京十五日發電】英米間に巡洋艦割當問題が解決すれば次いで重大なる問題は日本の英米に對する七割主張の問題である爲め英米では此の際大事を取つて五國豫備會議を開催する前に日英米三國丈けの内交渉を行ひ此の問題を解決せんとするの議が持上つて居るが、右に關する我海軍當局は本會議を成功に導く爲め、會議決裂の惧れある問題を有する國は順次内交渉を行ひ豫じめ之を解決して本會議に於ける正面衝突を避くべしとの意向を有して居るので英米から右の提案ある場合は欣然内交渉に應ずる筈である

日支條約改訂に支那側準備
佐分利公使の着任を控へ 豫備委員會を開く

【南京十四日發電】日支通商條約一改訂に關し我政府の對策、汪公使より外交部に達し又佐分利公使の着任期も近づいたので國府は去る十一日の中央政治會議外交部會議で之が對策を協議の結果、改訂交渉具體的準備の爲め關係各當局ならびに民間代表者を選び條約改訂豫備委員會を開くに決した

國境平穏
十二日以後

【ハルビン特電十五日發】ポグラ其後の情況は十二日露支双方で威嚇的に發砲した後平靜に返り十三日午後六時頃再び勞農機六臺が翼を連ねて飛來し穆稜馬橋河を偵察し返したほか十四日午前は何等變化なく滿洲里方面も亦鎭靜で兩國境とも不氣味な靜寂である

露支國境に便衣隊配置
張學良氏命令

【奉天十四日發電】張學良司令長官は今回吉林の張、黑龍江の萬福麟督辦各軍長各將領に對し左の如き命令を發したと……

各種酒類に軍費税
領事團で抗議

【ハルビン特電十五日發】特別税捐徵收局にては各種の酒類に對し百分の四十の軍費封印税を十五日から増徵する旨商民に對し通知したがこれ迄の酒税は百分の二十であつた、これがため在哈領事團は正税を拂へる輸入品に對して賦課するは不當なる旨抗議した

東支管理局長に露人任命を再要求
近く對支回答に於て

【モスコー十四日發電】露支會議開催に關する露國側の提出條件を拒絶せる支那の對露回答は十四日露國政府の手に依つて發表されたが即ち去る十一日附を以て在露ドイツ大使館の手を經て露國政府に移牒せられて居たもので露國政府側では近日中に再び支那に對して回答する處あるべしとの意を表明して居る、而して目下の新聞紙の論調ならびに警告より見れば露國は同回答に於いて再び露國人の東支鐵道管理局長任命の件を要求し今次の失敗に終つた事に關しては其の罪の南京政府側にある事を指摘し且つ又内外の勢力が支那をして融和の途より外れしめた事を指摘するに至るらしいと思はれる新聞紙は一様に其の論説に於て目下ゼネバにある諸列強の政治家が支那をして此の停頓狀態を齎しめるべく慫慂したものとして攻擊の矢を放つて支那に對して此のゼネバに於ける諸列強の援助は暫時の間を出でない事を記憶せよと警告して居る、尙離局打開策としては政府側では奉天當局が南京政府の對露政策に對して有する不滿が結局紛爭平和解決の要素になるだらうとして居る

邦人宅を襲ひ支那兵暴行
現金二百圓を强奪し逃亡 東部線駐屯の吉林兵

【ハルビン十四日發電】東鐵東部沿線駐屯の吉林軍の將校一名兵卒五名は制服の儘同地方人材木商大橋某宅を襲ひ現金二百圓を强奪逃走した、各地方民は支那兵を蛇蝎の如く嫌つて居る、此の爲め奉天吉林當局は北滿出動軍を三萬に限り夫以上增さぬ方針である

大連驛頭の代議士團一行

滿鮮視察の代議士一行來る
けふ大連市内を視察 あす旅順戰跡を見て青島へ

各派衆議院議員鮮滿視察團一行は今十五日午前八時吳越同舟賑やかな顏觸れを揃へて着連した、驛には田中民政署長、滿鐵の齋藤理事藤井秘書役等の出迎へを受けて直ちにホテルに入つた、一行のメンバー
團長中谷貞賴（政）▲高橋元四郎（民）▲沼田嘉一郎（新）▲伊藤仁太郎（政）▲川崎安之助（民）▲佐藤啓（民）▲吉津賢（政）▲熊谷巖（政）▲田崎信藏（第一）▲藤山貞吉（政）▲中井一夫（政）
外に衆議院書記官中御門氏等である、ホテルに入つた一行は休憩の後午前九時より滿洲館に於いて滿鐵重役の歡迎を受け次いで埠頭、油房を見て忠靈塔に詣で正午は星ヶ浦ホテルで滿鐵の午餐會に臨み午後二時半から市内見學同三時半から滿蒙研究會員との會談、六時半より招宴がある筈尙明十六日には旅順見物し明後十七日午前十一時青島へ向けて出發する豫定である

元帥、參議官に軍制改革の説明
臨時師團長會議にて

【東京十五日發電】今月十八日の臨時師團長會議第一日に於いて宇垣陸相は元帥、軍事參議官の參集を請ひ軍制改革に關して報告をなし詳細の説明をなしたる上意見の開陳を求める事となつたが、同日迄に軍制調査會の草案が出來れば之をも報告する筈で同日の會議は相當注目されて居る

判事選擧改訂

【ゼネバ十四日發電】十四日の國際聯盟總會はヘーグ法廷判事選擧に常り非聯盟國も之に參加し得る樣同裁判所規定の改訂其の他を一致可決した

一月に開催せらるべき國際會議に持ち出すべく努力するだらうと觀られる

獨代表から決議案提出
第二委員會に

【ゼネバ十四日發電】國際聯盟總會ドイツ代表は總會第二委員會に對して
國際聯盟は或る國に對して諸外國人が入國せしむる件に關する問題を審議に附して有益なる結果を得べきや否やを聯盟理事會をして決定せん事を要求する決議案
を提出した、若し通過すれば米國其の他諸國の移民排斥或は移民制限等の諸問題も聯盟の議題にならうと言ふ提案である尙ドイツ側では外國人に對し通商上に關し相對的公正取扱ひの問題に關して來る十

四國公使協議
治法撤廢問題

【北平十四日發電】領事裁判權撤廢第二次照會を受けた英米佛和四國公使は昨朝オランダ公使館で第一次商議を行つたが各國の回答は二ヶ月後となる模樣である

北寧線整頓
高局長の聲明

【天津特電十五日發】新任の高北寧鐵路局長は十二日午後入津したがその後氏は該線の整頓に就いて左の如く語つた
北寧線の整頓に就いては積年の情弊打破財政の完全公開、鐵路の營業化、列車の增發增收が必要である、現時該鐵道の收入は毎年二千數百萬元で支出は一千餘萬元ある故に之を整頓すれば利益があることが出更に一層の增收を見ることが出來る、貨物の運送に就いては絕對に責任を負ひ甲地より乙地に貨物を輸送せんとする場合には一つの貨單で乙地で領收出來る樣に化る考である、東北交通委員會が鐵道部の諒解を得て各鐵道を該部から分離すると謂ふ說は噓である、北寧線の純益は銀行に保管せしめ將來の鐵道建築に充つる考へである、之れと共に列車も極力改善する方針である

仲秋節決算で倒產者續出
ハルビンの支那商人

【ハルビン特電十五日發】支那側仲秋節のため決算期にあたり哈爾賓大洋票の暴落と諸取引の不活潑に加へ雜穀輸出禁止に八方塞がりとなりブリスタン傅家甸方面の支那商中に店を閉めて早くも逃亡するものも續出し大小約數十軒の倒產者を出す見込で總商會はこれ等商人の訴訟事件で忙殺され金票の騰貴は上海爲替決濟のため著るしく激增し十四日は百七十元と一躍十元方奔落した、この大勢は官憲の取締にては如何ともすることが出來ない

徵兵旅費支給規定改正

【東京十四日發電】徵兵旅費支給規定の改正に伴ひ内務省では今後現住地に於て檢查地迄の旅費の振替支拂を受けなかつた壯丁に對しては、本籍地又は居留地の地方廳に於て支拂をなす事に決定十四日各地方長官に其旨通牒を發した

公議會々長
正副とも再選

大連華商公議會正副會長の改選は郭任期を經過して數個月に及んだ大華堂、黃信之、范貴三、安茲民氏等月餘の奔走功を奏して豫想された大波瀾を裏切つて急轉直下各派の諒解なり十四日午後四時から選擧を行つた結果
會長　張本政　二十八票
副會長　邵愼亭　十四票
同　劉仙洲　十四票
と何れも再選された

青年聯盟迷惑
聲明書を發表

近頃或る一部の人々が滿洲青年聯盟の名を利用して種々畫策する者があり聯盟は非常な迷惑を蒙るので、十四日左の如き聲明書を發表した
近來滿洲青年聯盟又は同大連支部の名の下に種々個人的運動をなす者あれ共、我々聯盟は個人的運動をなす事絕對になし誤謬なき樣右聲明す

楊宇霆長男日本に留學

【下關十四日發電】楊宇霆の長男楊元（一九）は從弟と從者を從へて今朝來着上京したが東京に於て成城中學に入り亡父の遺志を繼ぎ日本の陸軍教育を受けると語つた

・・・はるびん丸無電　十六日午前八時牛港外着の豫定

人事

▲菊竹實藏氏（滿鐵鄭家屯公所長）十四日入港の長平丸にて來連ヤマトホテルへ
▲能島進氏（日本電通取締役）十四日午後陸路來連、吉川大連支店長の案内にて十五日市内各關係方面を歷訪挨拶
▲滿鮮視察代議士團　十五日八時着列車で來連ヤマトホテルへ

日曜閑話
初めて空を翔る 十年の思ひ叶ふて

「久方の雲路を行けば野も山も遠つ青海も」まで出たが、それから先が出て來ない。十四日、周水子で日本航空會社のフオツカー、シユパー、ユニバーサル機に試乘しまし實際飛行士に操縦せられたときのことである。そのうちに五分ほどもたち、あわただしく着陸してしまつたのである。
×
丁度、今から十年前、大正八年の春もまだ淺い頃の、ある晴れた日曜の朝と記憶する。ロンドン郊外の下宿屋の窓から、首を出し、ちよつと空を見あげると、一臺の飛行機から銀色をした紙片が、幾千何萬となく降つて來るのであつた。ロンドンとしては珍しく晴れ渡つた朝の陽光を受け、紙片はヒラ〳〵ときらめくのであつた。
その翌日の新聞で見ると、プリンス、オブ、ウエルス殿下が、初めて御試乘あらせられたのであつたとのことであつた。
ヘンドンの飛行場には目と鼻との近い所に居つたので、二三日して出かけて行き、五分間一ポンドの試乘をやらうと思ひ、バスの階上からヘンドンの方角を見つめつゝヘンドンに着いた。ところが、その朝に、故障があつて怪我をしたとか、何とかの話であつたので、そのまゝ引き返してしまつた。
其後、大陸を巡つて、また元の下宿に歸つて來ると、下宿の老女將が、ミスター何々は英雄だなど大變な稱讚のしかたであつた。なぜヒーローだなどゝいふか尋ねると、ミスター何々はヘンドンへ行つて飛行機に乘つたといふのであつた。飛行機ぐらゐに乘つてヒーローになれるのなら、と思つたがとう〳〵ヒーローになる機會を摑むことが出來ずにゐた。
尤も、そのミスター何々も實は飛行場まで行つたが乘らずに歸つた。然るに下宿での夕食の會話のとき、飛行機に乘つたかといはれたので、不用意にもイースといつてしまつた。それを訂正するには字引を一二度、引かねばならぬやうなことになるのが厄介さに、つひ英雄になつてしまつたのであるとの、後々で告白であつた。
×
十年來の思ひが叶つて、生れて初めて、五分間といふ短時間ではあつたが、とにかく空を翔るの人となることが出來たのである。
四百馬力の發動機のついた六人乘り、プロペラーは一ツであるが旅客機で非常に乘り心地のよいのだとのこと、一番前方の右側に乘り込み、椅子に腰を卸して窓ガラスを通して目をやると、もと競馬場であつたイーヤ、ポート一面に秋ながらクローヴアのやうな、やわらかい草が茂つてゐる。それだけでも、何となく心持ちよさを感じさした。そのうちにプロペラーは烈しく鳴り初めた。滑走を初めた。七八寸に密生した草は、後へ後へと飛ぶ。タイヤは廻るのか、廻らぬのか分らぬやうに廻る。この滑走運動が何秒といふ、ほんの束の間で離陸した。尤も滑走と離陸どの區別は、殆どつかぬ程度のもので、何時、離陸したか分らぬうちに空の人となる。
疊に坐するといふか、些の動搖もない。エンヂンか、プロペラーの響は烈しいが、大聲を出せば簡單な話は出來ぬこともない。ただカーブするときであらう、すこしグググッと感ずる。そのときはハッと思はぬこともないが、直ぐに平靜に歸する。
三百五十フヰートぐらゐの低空飛行であつたといふが、とにかく下界を俯瞰したときの光景は、これ全く飛行機上からでなくては觀られぬところである。支那人の農村部落は、秋の收穫に忙しげであるが、黑い人は點々として蟻のやうでもある。左顧すれば夏家河子から金州灣は脚下にあり、大連のロシア町海岸には眞帆片帆のヂヤンクさへ行儀よく列んでゐる。ただ大連の町は、秋の澄切つた空ながら、煤煙にぼかされ、沙河口から星ヶ浦の海岸から丘陵にかけて限なく一眸の裡に入るは、何といふても空かける人の特權でなくてはならぬ。
併し、秋空のこの光景も束の間いつの間にか、わが乘れる美濃機はドへ下へと下りつゝ、そのうちに南關嶺の石炭置場から周水の驛を見おろし、つひに飛行場に入つて滑走を始めたのであつた。かくて「野も山も遠つ青海も」で二の句がつげずに、また大地の人となつたのであつた（一記者）

滿日漫話
パラシウト
周水生

「昨日の旅客機試乘で洋傘を持ち込んで忘れて降りた人があるさうだが、どうかしてゐるネ」「いや、感心な人だ、萬一の時にパラシウトにする積りだつたのだらう」

天氣豫報

十六日（晴れ）西の風一時曇り
日出五、三四　日沒六、二〇
滿潮前九、〇〇　後九、一五
干潮前二、〇〇　後三、三五

赤機襲擊のポグラ驛の慘狀

頑強に抵抗の賊團 遂に狼狽逃走す

わが守備隊兵勇敢に應戰し 軍服着用の賊一名を生捕る

昨日首山の馬賊事件

【遼陽特電十五日發】昨十四日首山驛南方麥山子附近に於て遼陽守備隊から急行した十四名に對し地物を利用して頑強に抵抗したる賊團の百餘名は午後五時頃に至り漸次移動しつゝありたる折柄、鞍山守備隊長の率ゆる八十餘名が臨時列車で來着、應戰するや賊は忽ち狼狽し六時頃に至り全く射撃をやめたので守備隊は逃走と見て追跡賊一名を逮捕した、其他逃走するにあたり馬三頭、拳銃三挺、長銃二挺、彈丸六十發其他を遺棄した我守備隊は一時追跡を見合はせ昨夜は警察官の一部隊と共に首山附屬地を警戒し、逮捕したる賊の服裝は便衣なるも下に將校の肩章ある軍服をつけ居れる點より推測すれば擧軍の裁兵か或は郭松齡の殘黨に非ずやと目下守備隊に於て取調中である

ガマロの守札で命を取り止む

負傷した岡本上等兵

【遼陽特電十五日發】遼陽守備隊上等兵岡本佐吉は賊と交戰中左手に貫通銃創をうけ直ちに衛戍病院に後送手術したが、同人に命中した彈丸は左手から銃把を傳ひ左胸のポケットにあたつたが幸ひポケットには蟇口と中には守札があつたので生命に異狀なかつた、なほ岡本上等兵は今十五日滿期除隊となる筈であつたと

うらやす丸坐礁す

大連無電局への入電によれば今十五日朝午前二時神戸汽船會社附屬貨物船うらやす丸(二、六四六噸)は東經一二二五度五西北緯三四度五六(木浦沖合)の地點に於て坐礁し浸水甚だしく全員は直ちに船よりボートに移乘したと

戎克顚覆

乘組員は助かる

天津曹行舟所有の戎克船德源順號はメリケン粉十十五袋、ほか十數點價格二萬五千圓の品物を積載し十四日午前七時ごろ船長李明恭はか十一名乘組み大連乃木町海岸を天津に向け出航したが、途中同九時ごろ老虎灘を去る沖合約三浬の海面に於て急變せる暴風雨に遭ひ激浪に揉まれついに顚覆し乘組員十二名は右船體に縋り危ふく溺死せんとしたが、急報に接して急航した老虎灘派出所詰岸本巡查および巡捕等に救助された、顚覆の德源順號は目下水上署遼海丸により引揚げ中

4A—3

四平街軍快打 奉軍先づ敗る

けふから蓋開けの 全滿選拔野球大會

第一回全滿選拔都市對抗野球大會は中央公園滿俱球場に於て今十五日午前八時三十分より參加七チーム(安東不參)の華々しい入場式によつて擧行された、入場式後大平滿鐵副總裁の始球式あり同九時三十分いよく第一回戰たる奉天對四平街は奉天先攻にて試合開始球審萩原、壘審岩田、久保、主なる試合經過次の如し

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
四平街	0	0	0	3	0	0	0	1	A	4
奉天	0	0	0	2	0	0	1	0	0	3

△第三回 奉天一死後室井遊僃失に出たが香川の二飛で鈍壘を重殺▲四平街二者三振後越前屋四球に出たのみで後援つゞかず

△第四回 奉天一死後近藤二壘安打水原一壘左を拔いて近藤一擧三進し右翼手の送球を三壘手後逸して近藤生還、水原三壘に寄り村上遊僃で生還、青木中堅右に安打二盜したが牽制球で挾殺▲四平街一死後橫道四球で二盜大井の右翼線安打で橫道三進大井二盜北村の二僃野手本投した間に合はず橫道生還、伊藤の一僃で大井生還、多田は二遊間に安打して北村も還り四平街一點を勝越す

△第五回 奉天肥塚右前安打したが田村の投前バントで一擧三進して憤死、室井四球も二盜で空し▲四平街一死後秋吉二僃失、島田三壘線安打、橫道遊僃惡投で滿壘となつたが、秋吉三本間に挾殺され大井三振して好機を逸す

△第六回 奉天香川遊僃內野安打に出で二盜二死後水原四球で走者一二壘を占めたが、村上の三僃は香川を封殺▲四平街三者三振

△第七回 奉天青木死球肥塚四球田村の死後室井三遊間安打で一死滿壘、香川の遊僃青木を本壘に封殺したが原田死球で肥塚押出されて同點となり近藤左飛▲四平街藤原二壘左に安打して二三壘を連盜、越前屋三振後秋吉の投僃で挾殺されたが此間に秋吉三進然し島田二飛して得點なし

△第八回 奉天(四平街藤原一壘越前屋投手となる)三者凡退▲四平街一死後大井左前安打し北村の右越三壘打に生還伊藤投飛多田一僃したが四平街亦一點を勝越す

△第九回奉天肥塚一飛田村中飛室井右飛して四A對三奉天遂に惜敗す、閉戰十一時二十分

四平街 吉田 道井 村藤 田原屋 秋島 橫大 北伊 多藤 越前 左捕右中遊二三一投一投

奉天(先) 川田 藤原 上木 塚村 井 香原 近水 村青 肥田 室 左 三捕 一遊 右中 投二

打數 33 29 安打 6 6 犠打 0 1 三振 10 3 死壘 2 6 犠盜 9 4 四球 2 2 盜失 0 0 打點 1 0 殘壘 0 0 6 6

◇戰評◇

▲戰前の豫想を裏切つて四平街の快勝となつた實際四平街軍が元氣一杯に戰つたに反し奉天軍には何處か力を缺してゐる感があつた、しかも第四回の二點で早くも勝つたと思つたらしい、そして一點をリードされてから急にあせり出したが遂に最後まであせり氣味で四平街投手の凄味の無い緩球を打ちあぐんでしまつた▲走壘に於ての三度の失と室井二壘手が第四回裏に北村の二僃を本投したミスヂャッヂ、三壘一壘に走者を置いて常に易々と捕手が二盜を許した(走者の足は皆遲かつた)事も今日の奉天の敗因をなした。

全國中等學校陸上選手權大會

大會記錄續々破る

【東京十四日發電】第十五回全國中等學校競技選手權大會は十四日正午から神宮トラックに開會、參加校は一道三十府縣の九十四校、參加人員五百七十名で、當日の決勝第一位成績左の如し

砲丸投栗原(埼玉師範)十三米九〇(大會新記錄)▲棒高跳松本(埼玉師範)三米五〇▲走巾跳小山(福岡中學)六米六二

廣島師範の吉岡選手は百米突豫選で十一秒一、百十米突ハイハードルで十六秒五、四百米突リレー准決勝で新潟師範は四十五秒と大會新記錄を出した

全滿軟式庭球の選手權大會

二コートで華々しく擧行さる

けふ午前中の成績

全滿軟式庭球選手權大會は十五日午前十時より北公園及北大山通り兩コートに於て華々しく開始されたが、午前中の試合經過左の如し

男子部

(永)內村・沼 四—二 (古)藤・原川

(渡)邊 四—〇 (上平)塚野

(持原)藤原 四—二 (信藤)波太

(森廣)瀨 四—一 (石原)井

女子部

(片岡)島 四—二 (國新)弘

(田鈴)木內 四—二 (大寺)居身

(竹大)野 四—二 (橋)澤本

(吉)田 四—二 (野)木

ナショナル庭球 准決勝戰

【フォレストヒルス十三日發電】アメリカナショナル庭球選手權大會男子シングルス准決勝戰は本日當地で擧行、決勝戰にはチルデンとハンターが顔を合せる事となつた

チルデン 四—六、六—二、六—三、六—二、六—三 ドーク

ハンター 六—二、六—四、六—八、六—四 マーカー

女給生活に入り叱られ 十九娘自殺を圖る

自動車內で『ネコ』を嚥下して 『病弱の兄を賴む』と

十四日午後八時四十分ごろ大連能登町六七藤田房吉かた同居藤田敏江(一九)は日出町友人宅を訪れ歸途若狹町小島藥局より猫イラズ一個を買ひ求め、第一タクシー前より自動車に乘り星ケ浦に行く途中、右猫イラズを嚥下しその上海中に投身自殺を圖らんと企て運轉手藤田好鷹に

怪まれ

尾行のうへ歸宅を促され再び日出町の友人宅まで歸つたが、その頃より烈しく苦悶を始めたので大騷ぎとなり若狹町西田病院に收容應急手當を施した、同女は大正八年に兩親に死に別れ大阪市で女給奉公中、昨年十一月伯父に當る前記藤田房吉かたに引取られ約一ヶ月前より扁桃腺を病み大連醫院の治療を受けつゝあつたが伯父の世話になつてゐるのを心よしとせず

易者を

尋ね身の上を見て貰つたところ眞面目な處に働くのは不適當だからカフエーあたりの女給として面白く働く方が好いと言はれたのを信じ、四五日前より伯父には無斷で能登町カフエードクロに女給として働いてゐたところ、伯父より散々叱責されこれを悲觀して覺悟の自殺を企てたもので懷中には「自分は死んで行くから病弱の兄をよろしく賴む」と認めた遺書を抱いてゐた、生命はとり止めるらしい

苦力頭も

毒藥自殺未遂 責任感から

十四日午後二時ごろ大連對馬町七四建築業藤井勝藏かた苦力頭劉學功(三〇)は毒藥阿片三十錢分を一時に嚥下し自殺を企てたが、死に切れず苦悶中を藤井に發見され早速西公園町一二一隱崎醫院に擔ぎ込み應急手當を加へたので生命は助かる模樣である、同人は最近某工事に使役したる苦力に支拂ふべき給料百五十圓の支拂金額を藤井より託されその中百圓を支拂つたが五十圓は遺失して了つたので責任感より死を決意したものである

賑つたけふの日曜

寫眞說明 (上)全滿軟式庭球大會の盛況(中)絕好の天氣に惠まれて家族連の見物で賑つた滿電の電氣展覽會(下)けふから幕を落した全滿選拔野球大會—寫眞は第一回戰たる四平街對奉天戰

鼻持ならぬ 不完全なW.C. 撤廢の請願

大連山縣通り八十七番地、即ち紀伊町通りに面してゐる公衆便所と同山縣通り市場西部附屬地にある公設便所は甚だ不完全、不體裁のもので市の美觀を損するのみならず、紀伊町通りに面してゐる公衆便所の如きは過日降雨の際糞便路上に流出して附近屋內にまで浸入した事實あり、何れも夏期は窓扉を開放してゐる關係上常に臭氣紛々と襲ひ來り加ふるに蠅蚊等の繁殖烈しく附近居住者は尠からず迷惑してゐるので速かにこれを撤廢して貰ひたいと市役所へ請願したので市では十四日この旨大連署へ移牒して來た、なほ市內にはこの外十六ヶ所に公衆便所あるが何れも衞生觀念の乏しい支那人等の使用に任せ掃除また行き屆かぬ爲め不潔極まりなく便所の附近一般居住者は何れも撤廢を希望してゐる

全國學生水上大會

きのふの成績

【東京十五日發電】第八回全國學生水上大會第一回は秋晴れの十四日午前八時三十分より玉川プールに開かれ左の新記錄出した

▲八百メートル自由型第一豫選竹村選手(明大)十一分五秒二(本大會新記錄)▲百メートル背泳第一豫選入江(早大)選手一分十六秒六(本大會新記錄)

滿日辛勝す

大連印刷聯盟スポンヂ野球リーグ戰の滿洲日報對デリーニュース戰は十五日午前八時より第二中學校球場に於て擧行三對二にて滿日辛勝した

激昂した鳶職 馭者を刺す

馬車賃から爭つて

十五日午前三時卅分ごろ大連逢坂町一七六鳶職工藤喜太郞(三〇)は常盤橋より客待中の白雲山馬車收容所內馭者劉殿鐸(三〇)の乘用馬車に乘り逢坂町二二三武座敷態機前まで來たが、馬車賃のことから劉と爭論し激昂のあまり懷中せる白鞘の短刀を拔く手も見せず劉の左大腿部にヅブリ突き刺し治療一週間を要する刺傷を負はせた、屆け出により白石巡查驅付け傷害犯人として逮捕大連署に同行留置された

童話 北風の送葬曲（一）

江上照彦

黒雲は空一ぱいにつばさをひろげて動いてゐました。北風は森のあたりで「ひゆん〳〵」うなつてゐました。野には雪が厚くつもり、池には堅い氷が張り、壁のカレンダーはもう24といふ數字を見せてゐたしマトンルピースの上の置時計は丁度7の所をせか〳〵と急いでゐました。雲間から時折小さな顔を覗かす星の光に軒のつらゝは海賊が腰にさす半月刀の様に光つて見えました北風の背に乗つて來た雪の子供達はそのまつしろいガウンを誇りながら鵞鳥の和毛のやうにくる〳〵下に舞降りて行くのでした。それはクリスマスの前夜でした。そしてたいへん寒い夜だつたのです。家々ではあんなにも皎々と電燈が輝いてゐるのに、乞食の子はビロードのやうな濃い闇の中にたゞ一人さびしく立つてゐました。どの部屋でも着飾つた小供達が小鳥みたいにはしやいでゐたのに、乞食の子はだまつたまゝガタ〳〵ふるへてゐました。町は銀色の雪の外套をきてゐました。街路は水晶をしいたやうにきら〳〵して、時々鼻の孔から小さな二本のつららをたらした驟馬が黒い幌馬車をひいては走つて行くのでした。ポプラもアカシヤもすつかりやせてゐました。箒みたいなポプラの梢では風が得意になつて口笛を吹いてゐました。麓まで凍つてしまつたアカシヤの下で山東生れの若い栗賣りがひとりごとを申しました。

「何てひどい寒さだらう」

冬のおぢいさんは山の頂きに上機嫌で腰をおろしてゐました。そしておぢいさんが烈しい嚏をするたびに、森の樅さんや松君や、日本から來たばかりの櫻孃達は悲鳴をあげて恐れました。

×

乞食の子は破れた青いチョッキを着てゐました。青いチョッキには南天の實のやうな眞赤なボタンがついてゐました。その兩手をズボンのポケットにつつこみながら、乞食の子は電線に止まつた雀の様にちぢこまつてゐました。彼はガラス窓の中の樂しい集ひに眺めいつてゐたのでした。子供達は圓いマホガニーのテーブルをかこんで座つてゐるのです。子供達は皆きれいな毛皮の服を着てゐます。男の子は其黒曜石のやうな瞳を輝かし、林檎を思はせる頬に時々ゑくぼをうかべ、女の子はその地平線みたいな細い眉を靜かにひそめ、花片とも見える朱の唇にほゝゑみをうかべて、お母様のお話に耳を傾けてゐました。子供達はお母様のお話が終る度に可愛いゝためいきをつきました。そしてまる〳〵とこえたかあいゝ手をさし伸べては、果物やお菓子をおいしさうに食べるのです。乞食の子はそれを見るとのどをならしました。そして一生懸命背伸びをしてテーブルの上の御馳走を眺めました。

子供達は林檎や蜜柑やお菓子等を半分程食べては盆の中へ捨てました乞食の子はその度にびつくりして聲をたてたほどでした。部屋は光で一杯でした。蓄音機は先刻から熱心に働いてゐました。艶々しい毛なみの三毛猫は、その瑪瑙の様な瞳でボックスの中を覗きながら、不思議な諧律を捕へようと苦心してゐました。銀のコーヒー沸かしから湯氣がたつてゐました。

女の子は自分の胸にたれた眞珠の首飾りを時折り掌の上にのせて眺め、男の子は橄欖石のはいつた赤いトルコ帽をきどつた風に幾度もかぶりなほしてゐます。それは皆お父様からの贈り物でした。子供達はやがて歌を唄ひ始めました。卓子の上に居眠りをしてゐた三毛猫はその聲に驚いて飛上りました。

乞食の子は急に微笑みました。そして可愛いゝ聲で自分も唄ひだしました。何故ならその歌は乞食の子が、もとよくうたつたものだつたからです。彼はすつかり上氣嫌になつてバッタの様に跳ねながら門の中へ入つて行きました。そして窓から顔をのぞかしてにこ〳〵笑つたのです。

しかし子供達は、硝子にうつゝた乞食の子の顔を見ると、急に歌を止めて大聲で泣き出しながらお母様の所へ走りよりました。するとお母様は頓狂な聲をあげて三人の下男の名をお呼びになりました。

庭のすみに眠つてゐた犬はその騒ぎに眼をさましてはげしく咆へはじめました。その犬は熊の様に强く、鰐の様に邪慳でした。乞食の子は壁にくつゝいたまゝ震へながら申しました。

「僕は何も惡い事はしやしない。たゞ坊ちやん孃ちやん達と遊びたかつたゞけなのだよ」

「醜い奴め。お前の顔は墓の様だお前の身體は毛虫の様だ。坊ちやまと遊ぶより土に穴でも掘つてゐろ。孃ちやまと遊ぶより枯れた木にでも登つてろ」犬は肩をいからして叫びました。それを聞くと乞食の子はしく〳〵泣きながら粉雪の中へ消へて行きました。

二ドメノ 大チャンノタンケン （100）

ハルミチ作 ジラウ畫

オヂサンノ ウツタ テッパウデ「二ヒキノ オホカミハ ミゴトニ ウチコロサレマシタ。」アトノ オホカミハ オドロイテ モリノ オクニ ニゲテ シマヒマシタ。」

オヂサンハ オホカミガ ナニカヲ タベテ牛タトコロニ カケツケテミルト ソコニハ クヒチラサレタ ライオント ウワバミノ ムザンナ シガイガ ヨコタハツテ 牛マシタ。」

「ウム……コンナモノヲクツテ牛タノカ、オホカミガライオンヲ クフトハ マコトニ [illegible]ダ。ソレニシテモ 大チ[illegible]ドウシタノダラウ」オ[illegible]ハクビヲカタムケマシタ

綴方と批評

にはとり

大廣場小學校三男　熊井義彦

僕は旅順に歸つてから、にはとりのせわをしてゐます。朝早くおきてとり小屋を開けてやると三羽のにはとりがコッコ〳〵といひながら喜んで出て來ます。ころりやんや、お米や、なつぱや、水をやりますとおいしさうにたべます。たまごをうむとケッココココとやかましくなきたてます。その時とり小屋には入ると、わらをしいた箱の中にたまごのあたたかいのを一つうんでゐます。箱のおくの方にうんだり、前の方にうんでる時もあります。にはとりがたまごをうんでゐる時行くと、びつくりしますから、外から見えないやうに、いたをはつて一センチメートルほどすきまをあけておいて、うんでるかどうか見るのです。とりは遠い所まで遊びに行きますが、すぐ歸つて來ます。夜になつて電とうがつくと、とりはめい〳〵に小屋には入りますから犬がこんやうに戸をしめてやります。

にはとりは毎日よいたまごをうんでくれるので、僕のすきなカステラをお母さんに作つてもらひますにはとりはほんとうにかわいゝものです。

評　自分がせわをしてそだてゝゐるにはとりのうんだ卵、そして、その卵でこしらへたカステーラ、それはどんなにおいしい、でせう。

童謡　オフロ

大廣場小學校一年　堀英子

ワタシハオフロガ
ダイスキヨ
中ニツカルト
イイキモチ
アタマヲアラフノ
イヤダケド
シカラレルカラ
ガマンシテ
オメメヲツムツテ
アラヒマス
アガツテオネマキ
キルトキハ
トテモトテモ
イイキモチ

大場さん

大廣場小學校三年　高橋壽子

私のお友達は大場さんです。私は大場さんが一とうすきです。大場さんはまねしんぼうです。私がかみを分けたら、大場さんも分けました。大場さんが今年の四月、はじめて此のくみにはいつて來た時高崎さんが「あの人高橋さんのおねえさん」ときゝますから「ちがふよ」といふと高崎さんが「でも、よくにてゐるね」といひました。私はいつでもどこかへ行く時、大場さんをつれて行きます大場さんは一年の時どりよくをとつたさうです。私は大場さんとほんとにふるいお友達です。私が二つの時からのお友達です。大場さんはやせてがいこつみたいです。目がまんまるいから、ずゐぶんかわいゝですが、おこつた時は、ほんとうにこはいかほになります。私は大場さんが大すきで、いつも一しよのうちに居たいねといつも〳〵いつて居ます。「大場さんはしんせつで、すなほなおじようさんですね」とお母さんがおつしやいました。ほんとうにすなほなおじようさんだと思ひます。

評　大場さんもきつと私は高橋さんが一とうすきですと言つてゐるでせう。よいお友だちを持つことは何よりしあわせなことです。

百二十人乗りの大きな飛行機

ドイツで新たに建造された世界一の大飛行機「」それはプロペラの數が十二、機體の長さが百四十九フイート、ひろげた翼の長さが百五十七フイートもあつて乗客が一度に百二十人も乗れるといふ素晴らしい大きなものです。客室の中は[illegible]の限りを盡した立派なもの、十二個のモーターは四人の機關士によつて操縦するやうになつてゐます。此の飛行機がドイツとスウイスとの國境にあるコンスタンス湖上で試運轉を行つた時はモーターを動かし始めてから二十八秒で見事に離水し鮮かな飛行ぶりを見せました。寫眞は製作が終はつて一般に觀覽の公開をした時の光景です。下に見える人の大きさと比べて飛行機の如何に大きいかを御覧なさい。

宮田先生の『創生』

大連春日小學校の宮田榮松先生が今度「創生」と題するやさしい神話の本を金鳳堂から出しました。書物の中に書かれてある物語は皆さんがたに清い心と美しい夢とを與へる遠い〳〵日本の大昔のお話まだ天と地の區別もなく、山もなければ海もない、草木もなければ獸も居ない世界のたちはじまりから話が初まり、いろ〳〵の神々さまが日本の國の基をおつくりになるまでの不思議なおはなしが百六十六頁に亘つて面白くそしてやさしく書かれてゐます、定價四十錢

平安異香 (112)

葉多默太郎作
中一彌畫

痴情三昧（二）

「お蘭さま、お頭目が會はうと仰有る。ついて來な」

山賊などにかゝつては相手の身分の貴賤高下はない。検非違使廳別當勸修寺師輔の北の方お蘭の方様も、そこらの漆屋の内儀とおなじ扱ひをうける。

「さうかい。會はうと仰有る」

皮肉な微笑が、淫蕩らしいお蘭の方の眞赤な唇を歪めてゐた。

「それでは、會つて頂きませう」

棘のあるわざとらしさだ。

だが、お蘭の方はわく／＼してゐた。巨魁夢之助に對する激しい好奇心と、周圍の强烈な刺激とに醉つてゐるのだつた。恐怖はこの臥龍城へ來てすつかり洗はれてゐた。

この深山の絶頂の巖窟に、よくもこんな設備を營めたものだと訝しまれるばかりこの山寨が宏壯だつたばかりでなく、設備萬端に一脈のきちんとした統御と、それから文化的なものがあつて、夢之助にいろ／＼な噂があるが畢竟山賊だ。亂雜な荒々しい生活をしてゐるだらうと思つてゐたお蘭の方の豫期は見事に裏切られ、同時に、野獸のやうな男の群だから、どんな目に遇ふかも知れないといふ恐怖はきれいさつぱりと洗ひ拂はれたわけだつた。

「さあお入りよ。これがお頭目のお居間だ」

その居間は、更にお蘭の方を驚かせた。紫檀の卓、見馴れない花瓶、珍奇な綺羅錦繍の帳だ。壁代だ。總飾りだ。金網に狸がゐる。床に白熊の毛皮を惜げもなく擲げてある。

淫蕩放恣に馴れて、いたづらに刺激を追求してゐるお蘭の方には、これは陶醉するばかりの異國情調だつた。

だが、何か毛織のやうな緋の帳を背にして傲然と座つてゐる巨人を見た時、お蘭の方はがつかりせずにはゐられなかつた。

なんだ、やつぱりこんな男だつたのか。冷泉夢之助、名はきれいだがやはり山賊は山賊だけのものだ――とひどい幻滅。

それはいふまでもなく、臥龍城中随一の巨漢六尺二寸の獅子頭の熊五郎を主魁に仕立てた僞者だが、お蘭の方もそこまでは氣が廻らなかつた。

「お蘭さまよ、御挨拶しねエか、あれがおいらのお頭目だ」

彌五郎につゝかれてお蘭の方、山賊の張本の男振が悪いからといつて逃げ出すわけにもゆかないので、蔑すみを態度に見せながら、鷹揚に進んで行つて、

「お前が夢之助か」

と云つてフンと鼻を鳴らせた。

當てが違つたのは熊五郎の張本だ。假りにも臥龍城の張本のつもりで肩肱を張つてゐるに、この女には一向應えがないらしい。逆に叱られてゐるやうな按排なので、兄いどうすりやいゝんだ――といふ目を彌五郎に向けると、彌五郎ぐつと胸を反らせて、かつと口を開けてみせたので、怒鳴れといふのだなと受取つた熊五郎、怒鳴るのならお手のものだ。グツト女を睨みつけて大喝一番――。

「默りをれ！女、大悲山の張本に向つて夢之助かはどうだ！盗人たけ／＼しいとは汝のことなり」

何をいつてゐるのか判らないが盗人は手前の方だ。

熊五郎はなか／＼それ位では止めない。洪河の勢といふか暴虎馮河の勇といふか、がむしやらに吽び喚いて止まる所を知らない。こんな時には精一杯威張つておかないでは、一生涯に威張れる見込のない熊五郎だ。

「娑婆に於て太政大臣であらうと、乞食であらうと、この山へ來ればおなじことなり。汝はたゞの牝一匹に過ぎず。汝元來魔性のものにて、多くの男を小猫の如くに弄ぶと聞きしが、亭主ある身に不屆千萬なるぞ、しかるにより、女人のみせしめに汝を八ッ裂きの憂目にあはせくれんと思ひしも、賤しんの色香捨難し、側女にしてつかはすぞ、これへ寄れ」

變なことを云つて、熊五郎がお蘭の方の手を掴んだ。

牛原と傅明が三大作品を

松竹キネマ蒲田の牛原虚彦監督は鈴木傳明主演映畫を製作してゐるが、今秋に左の三本を提供する事に決つた、いづれも大物ばかりである

「山の凱歌」菊池緑子原作、小田喬脚色、「進軍」ゼームスボイド原作、野田高梧脚色（蒲田十周年記念映畫）、「彼と軍隊」北村小松原作脚色スケールの雄大なる點に於ては「進軍」に匹敵すべきもので深刻でユーモアーに富んだ軍事映畫

キネマニュース

▲演藝館 英澄支配人十五日のばいかる丸で出發し、日本內地、及び上海方面を視察して月末迄には關連との事新らしい知識を仕入れて來て大いに大連の映畫界をにぎはしてほしい

映畫界東西

松竹下加茂の小宮一晃は星監督の「血祭」で嵯峨へロケーションに赴いだが、壽之助の扮する旗藤俊三郎に小宮の扮する山男が川へ投げ込まれ、丁度其處が岩だつたので小宮は身體中に打撲傷を負ひ休養す

新女性鑑

大都會に生れ出た三人の女性、純情、放縱、虚榮其のものを表はして居るかの様な三人の女性、そしてそれをとりまく多くの男性、其處に新らしき女性として進む可き道が描き出されて來る。五所平之助監督、三浦光男歸朝第一回作品、山內光、結城一郎、田中絹代、龍田靜枝、筑波雪子の競演、十六日協和會館及び同日より帝國館に於て上映

滿洲日報

英米兩國內交涉後の日佛伊三國との交涉

如何なる形式になるかゞ問題

英米間の懇談內容

[illegible]

五ケ國軍縮會議の我國の代表全權

豫備交涉は左近司中將有力 本會議は三巨頭から

【東京特電十五日發】英米軍縮內交涉進捗の結果により日英米佛伊五ケ國豫備交涉開催の段取りとなつたが、この豫備交涉は最も重大視せられるもので次で開かれる本會議では豫備交涉で纏まつたものを **條約文に** 書換へるに過ぎないものとさへ見られる程で豫備交涉に派遣すべき代表に就ては愼重なる人選を要する譯であるが、その下馬評にのぼる中心人物は、最近軍務局長より軍令部出仕兼海軍省出仕となり軍縮問題を專門に研究してゐる左近司政三中將である、中將は軍政、軍事兩方面に於ける **海軍部內** の權威であり人格重厚一見武人の面影のうちに多分に政治家的見識をもち安心して豫備交涉に當り得る人である、また中將の麾下に軍縮問題を專門に研究する軍人には目下ロンドンに向ひつゝある佐藤三郎大佐あり、舊軍令部の高級副官小牧和助大佐あり、海軍の秀才杉山六造中佐あり **多士濟々** と言ふべきである、而して豫備交涉が幸ひに圓滿解決を告げ本會議開催に際して帝國の全責任を負ふて派遣さるべき帝國全權は果して誰であらうか、一昨年のゼネバ會議には齋藤朝鮮總督の出馬を見たが今回再び子爵を煩はすことは到底不可能で此處に子爵に匹敵すべき貫祿を有する **全權を物色する** ときは當然財部海相、加藤軍令部長及び幣原外相の三大人物が數へられる譯である、財部海相は三たび大臣を勤めて居り、軍政に通じゼネバ會議の際は海相として軍縮に通曉し、加藤軍令部長は一九二二年の華府軍縮會議に海相加藤友三郎全權の下に海軍首席 **專門委員** として內外に名聲を馳せた海軍部內稀に見る名將であり、幣原外相は我外交界の先覺者で語學に堪能練達の人、軍縮問題に明るし何れ劣らぬ全權としての適任者である、世界的國際的である軍縮の活舞臺に躍り出で竹帛に其名を止むる幸運兒は果して誰れであらうか、刮目して見るべきであらう

主力艦建造休止を更に五ケ年延期案

米國より軍縮會議に提出する

【東京十五日發電】千九百廿一年のワシントン會議で規定された主力艦の十ケ年建造休止は千九百卅一年即ち昭和六年から明ける事になり、日英米の主要海軍國は早くも主力艦代艦建造費捻出に惱んで居るが、アメリカ國務長官スチムソン氏の十三日の聲明によれば來るべき軍縮會議に於いては主力艦代艦建造延期案を提議する旨が明かにされて居る、即ち右は千九百三十一年より更に五ケ年間主力艦の建造休止を行ふもので、此の爲めに受くる軍備費負擔の輕減は各國共大なるものがある、然し海軍當局は主力艦の最も合理的制限方法は一方にて現在の三萬五千噸の艦型を縮小し之を二萬五千噸乃至三萬噸とすると同時に、他方にはワシントン條約の如く昭和六年より建造は始むるが其の竣工期を延期し逐次代艦建造を行ふ艦齡延期の方法を主張して居る

英米步み寄る

軍縮會議倫敦で開催か

【ロンドン十五日發電】五ケ國海軍々縮會議は十二月初め頃開かるべく開催地はロンドンであると傳へられて居るが、一方確なる筋にて言明される處によれば巡洋艦問題に關する英米の意見の相違は今や狹められ、アメリカは一萬噸級巡洋艦三隻を建造するや又は小型巡洋艦五隻を加ふるかの問題となつて居り結局イギリスは巡洋艦三十四萬噸アメリカは三十萬五千噸を保持する事となるものと期待さ

反蔣運動と蔣介石氏の對策

先づ東南五省を固む

「樹木風にあたる」のためしに漏れず、國民政府の實權が蔣介石氏に握られるや、さしもの時めく革命の元勳にも反對氣勢が絕えずどこかで渦を卷く。さきには、廣西派、近くは馮玉祥派、間一髮の間を幸運兒蔣介石氏は巧に切り拔けて反對者を封じ込み、世は暫し蔣介石氏の天下と見えたが、其實反蔣運動の根はますます蔓こつて今や全國的に瀰漫の形勢を馴致した。

× ×

今度の反蔣運動の火元は北方將領――即ち馮玉祥、閻錫山、陳調元、方振武氏等とされてゐるが、運動の火の手はまださして目立ちはせぬが南支那にまで及び、廣西派殘黨および汪精衛一派の改組派までが仲間入りし、從來各自の立場から個々に反蔣氣勢を揚げてゐたものが、打つて一丸となつた外、新たに蔣介石氏に寢返りを打つた連中も馳せ參じて、其勢力侮り難いものがある。第一北方將領だけでも上述の顏ぶれがほんとうに團結して當るとなればさしもの蔣介石氏の命脈も風前の燈火である。ましてこれに南方の各異分子が加はるに至つては、正しく一大事である。

× ×

今や全國に漲る此反蔣氣勢の因つて起るところは、必ずしも一でないが、歸する所は蔣介石氏の獨裁振りが氣に入らぬと云ふにある。其點に於て、改組派、北方將領、廣西派なんど云ふ左右とりどりの組合せが一致し得るのである。尤も表看板としては、改組派は革命理論をふりかざして、蔣介石氏の反革命を責め、北方將領連は編遣費の割當不公平および蔣介石、宋子文兩氏の財政紊亂、國帑濫費を掲げてゐる。

× ×

そしてこんどの反蔣運動の仲間に入つてゐるかゐないか知らぬが、最も猛烈な反蔣論者に孫文未亡人宋慶齡女史がゐる。先達て宋子文氏が南京から上海へ逃げて來て辭職騒ぎをやつた時、上海の宋氏邸で、蔣介石、戴天仇、王正廷、宋子文、宋老太々なんどが寄り集つて善後評定をやつた時、宋慶齡太々が出て來て、蔣介石氏以下を一人々々頭からコキ下して痛罵し、さしもの蔣氏も頭を得上げなかつたと傳へられる。兎に角反蔣の火の手が案外な所にまで延びてゐることは事實である。

× ×

馮玉祥、閻錫山、陳調元、方振武、王鈞、其他西北將領連名の反蔣通電なるものが出たこと、蔣介石氏暗殺團および南京火藥庫爆發が方振武氏の指金であつたことは既電の如くであるが、此等の北方將領連の結束が果して何處まで進んでゐるかは、未だ秘中の秘として知る由ないが、相當の程度に熟してゐることは最早疑ひを容れぬやうだ。

× ×

なほ先達て傳へられた所によると奉天の張學良氏も反蔣運動に加はつてゐるやうだつたが、今度は噂に上つてゐない。元來張學良氏が反蔣運動に加はつたのは南京政府が東支鐵道問題紛糾に乘じて東鐵の實權を南京政府の手に收め、更に東三省に蔣系軍隊を入れて東三省を乘取らうとする野心があることが判つたゝめだつたが、蔣氏は何成濬氏を奉天に派し、東支鐵道は勿論、東三省には絕對手を觸れぬことを保障して、張氏を反蔣派から脫退せしめたのだと說明する向もある。然し學良氏の眞意は判らぬ。

× ×

此等實力派の策動の外、廣東左派即ち汪精衛、陳公博兩氏等の改組派の策動は毎度のことながら、今度は廣東、香港あたりで大分軍費金を掘つたとやらで、先達てまでは弊衣破帽見るからに氣の毒な有樣だつた左派のお先棒連中が近頃は新調の洋服に靴の先まで光らせてゐる。左派の謀士陳公博氏は既に上海にあり、男勝りで有名な汪精衛氏夫人陳璧君女史は既に香港に乘り込んで夫君に代つて采配を揮つてゐるとのことである。

× ×

而して注目されるのは此の軍資金の出處であるが、それはどうやら廣西派から出てゐるものらしい。廣西派が世にときめく時には廣西派を反革命の罪魁禍首として罵りながら、其の廣西派から軍資金の融通を受けるなどは支那ならでは見られぬ圖である。尤も左派の領袖汪精衛氏は孫文氏在世中孫氏の代表として吳佩孚討伐のため故張作霖氏と款を通ずべく奉天へ出掛けて行つたこともある程なれば「此の道は總師の遺法なり」とて濟ましてゐるかも知れぬ。

× ×

最後に上述の如く四面楚歌の裡にある蔣介石氏の對策如何は興味ある問題でなければならぬが、今までに知り得た所によると大した奇もないやうである。但し今後如何なる對策に出るかゞ問題である。蔣氏としては對馮問題一段落後、自己の實際勢力を顧みて全部の力量を長江流域下流に集中する方針を立てた。即ち長江以北の地は異分子ばかりで、手の出しやうもなく、折角とつた兩廣も軍隊首領の割據で思ふやうにならず、茲に於てか長江流域下流を完全に自己の掌中に收め置くに如かずとしたのである。長江下流地方と云ふと江西、安徽、江蘇、浙江、それに福建を加へて丁度昔て孫傳芳氏が據つた地盤である。此內安徽、江蘇、浙江は先づ完全に蔣氏の掌中にあり、多少氣がゝりなのは江西の朱培德氏と福建の楊樹莊氏で、之が處分にとりかゝつたのである。江西は朱培德氏を最近參謀總長として南京に引張り出し江西首席に魯滌平氏を任命して豫定通り一段落を告げ殘るは福建だがこれも大して問題はなささうである。かくて蔣氏は先づ東南五省を固めた上、異分子の刈り取りを始めやうと云ふのである。そしてもう一つの準備は裁兵公債によつて軍資金を作ることである。

蔣介石氏が軍師長の首實檢

反蔣聯盟說に憤慨

【南京十五日發電】蔣介石氏は全國各編遣區總指揮以下各省主席、軍師長を南京に召集の命を發したが、右は各區編遣の實狀を聽取し將來の方法訓示の爲めと示されて居るが、實は蔣氏が反蔣聯盟の宣傳に憤慨し反對派の策動に備へるべく自ら軍師長の首實檢をなし、彼等の向背態度を鑑別するためであると言はれて居る

れて居る

日本斡旋說と支那紙の論調

【ハルビン特電十五日發】露支交涉非公式斡旋が日本政府の手にて行はれることになつたとの風說に對し支那側新聞は半ば沈默を守り其報道を掲げてゐるが一部には「日本が眞に仲介の勞をとることは隣邦として當然である、また北滿に關係を有する一國としては自ら出でゝこれが調停斡旋し早く今回の衝突を解決すべく期したい」と述べてゐる

今後の交涉紛糾せん

衝突事件で

【ハルビン特電十五日發】對露策に絕對强硬論者の張國忱氏は今回の衝突は勞農側が不戰條約を破棄したもので交戰狀態に入れば實は勞農に在りと例の如く露支交涉は進行中で今は意見を發表する譯にいかぬが、管理局長の職は督辦の命令に違背したので撤去し暫時支那側でその職にあることとは今日と雖も變りはなく東鐵は露支商業の合辦機關であることに就いては承認するものである、しかし今後の事は交涉の經過にあり明言することは出來ぬと語つてゐるが、今後の露支交涉には今回の國境に於ける衝突の解決はやゝ紛爭の課題となる形勢である

東鐵督辦後任者

范氏以外に任命されん

【ハルビン特電十五日發】東鐵督辦呂榮寰氏の更迭は時期の問題とされ後任には現管理局長范其光氏の說あるも奉天から別に任命する意圖を有してゐると傳へられてゐる

在哈露人引揚

朝鮮を經由して

【ハルビン特電十五日發】チェントル、ソユーズ、ノウラーコフ外三十四名は十五日午後三列車にて南下朝鮮の淸津から釜山丸で浦鹽に引揚げたが、浦鹽にて救濟を受ける筈、尚ダリバンク副總裁は十五日の株主總會の決議で日本經由敦賀から歸國し、總裁ベルツー氏は元山より引揚げる豫定である

午後に入り益々白熱化

全滿軟式庭球大會

十五日擧行された全滿軟式庭球選手權大會は午後に入り益々白熱化し男子部は臼木、關谷組、女子部は昨年度の選手權保持者佐賀、柴田組が優勝し五時閉會した、準決勝戰後の成績左の如し

男子部

準決勝戰

(臼木・關谷)四──一(炭田・梶)

ゲームは最初より緊張し互に打合ひ接戰を豫想されたが、第三ゲームより炭田、梶疲れ、これに反し臼木よく當り關谷のボーレーよく決まつて勝つ

(吉丸・下重)四──一(大串・大石)

老巧の大串組當り出でず、これに反し吉丸直球に緩球に虛を突き下重スマッシにボーレーによくポイントを取り豫想に反し簡單に終る

決勝戰

(臼木・關谷)五──三(吉丸・下重)

吉丸のサービスに始まり先づ一ゲームづゝを取る、双方よく當り吉丸は得意の直球に攻め臼木擬球にてこれに應じ双方秘術を盡し接戰三オールとなつたが吉丸のロップ短く關谷よく之を押へ臼木組遂に優勝す

女子部

準決勝戰

(佐賀・柴田)四──〇(鈴木・竹內)

(大野・吉田)四──二(法橋・隨益)

決勝戰

(佐賀・柴田)五──三(大野・吉田)

神明高女出身佐賀組は昨年度の選手權保持者だけに老巧振りを見せ又新進大野はファーの自由なコントロールを以て肉薄吉田又火の如きスマッシュでポイントを得難なく二ゲームをリードし形勢定まつたかの感があつたが流石老巧組だけに自重し二ゲームを取り返した、新進大野組は形勢が表はれ又アセリ氣味となりネット多くつひに佐賀組の勝となる、柴田のネットプレーの正確さ美しさはたしかに滿洲第一に價する

全滿硬球戰十五日より始る

全滿硬球選手權大會第一日は十五日午前九時より滿俱コートに於て擧行、勝者左の如し

△メンスシングルス第一ラウンド 小館(旅順)、藤田(滿)、河島(二中)、阿部(滿)、渡邊(滿)、澄田(滿)、小寺、木谷

△メンスダブルス第一ラウンド (河島・澤)(二中) (小館・木合)(旅順)

△同第二ラウンド阿部 (阿部・澄田)(滿鐵)

△ベテラン、シングルス 片岡(正金)、三浦(滿)、渡邊(三井)、田中(旅順)、川野(三井)、ラングドン、西村(滿)

△同第二ラウンド ラングドン、三浦(滿)、飯河

△ベテラン、ダブルス (飯河・二浦)(滿鐵) (元村・大久保)(拓) (ラングドン・モリエル)

尚明十六日午後四時半より滿俱コートに於て江口、早川組對飯河、三浦組及び元村、大久保組對ラングドン、モリエル組の準決勝戰が行はれる

チルデン七度選手權獲得

【フォレストヒルス十四日發電】第四十八回全米シングル庭球選手權大會は十四日午後決勝戰行はれチルデン選手七度全米シングルス庭球選手權を獲得した

チルデン 三─六、六─三、四─六、六─二、六─四 ハンター

哈市を去る白系ロシア人

東支問題以來俄かに殖える 續々上海米國へ移住

【ハルビン發】東支鐵道問題以來赤白露人のハルビンを去るものが俄に增加した、既に二ケ月間のうちに南下大連又は朝鮮經由で各地に向つたものは一千五六百名に達する、其の六分までは難離の赤系であるかと想ふと反對に白系露人で、彼等の多くが靑年であることも亦不思議である、其れはハルビンの地が既に白系露人としての教育を受けるに甚だ不適當となつて來た爲めに金のあるものは米國へ、資產の少ないものは上海へと志すものが多い、其他東支鐵の問題が今後如何に變化して行くか前途に多少の危惧を懷く白系露人で資產一切を有するものは安全な米國へ移住することを希望するやうになつて來たことも亦著るしい、赤系ロシヤ人に至つては全く今回の露支紛爭によつて一時元山又は敦賀經由で浦鹽に向ひハバロフスク邊で形勢を觀望する避難者であるが、支那側ではこの國際都市を所謂支那式に化して行かうとする政策が東鐵問題から勢ひ濃厚となつて來たことである、其れだけロシヤ人に對する教育制度も變化し小、中校は第二として高等、專門、大學程度に進んで學ばんとする白系露人には子弟の教育上米國又は上海を選ぶやうになつて來たのである、其の踪跡を斷つに至るだらうと悲觀するものもある

金解禁に對する滿洲金融界の影響

特產出廻期を控へ注目さる 銀行筋は引締警戒

金解禁に對する滿洲金融市場の推移に就いては特產出廻り期を控へて非常な注目を惹いてゐるが、解禁は最早時期の問題とされ、金融業者は之が準備に腐心してゐる、而して金解禁實行が必然的に金の海外流出を伴ふ以上は、當然今日の **緩漫基調** に變化を與ふることは明かで、その變化の程度は金の流出程度如何にある譯であるが、何れにしても滿洲は內地と事情を異にしてをり、解禁が本年末か來春早々に行はれるものと豫想すれば、丁度特產資金の最需要期に當るから、當然金融の逼迫を來し急激なる金利の昂騰を招來すると見る說と一方解禁により一般事業界、商店界は **一層不振** を加へ、之に伴つて資金の需要は益々減退するから金利に影響なかるべしとの說が多くなつて來た、然し何れにしても今年特產資金の利率は昨年よりは幾分の昂騰は免れぬ模樣にて有力銀行筋ではこの方針の下に目下貸出紹介に應じてゐる、試みに昨年の特產出廻り最盛期たる一月から五月までの市中銀行の **特產資金** 標準利率を見れば(單位厘)

	鮮銀	正金	正隆	滿銀
最高	二、三	──	二、六	三、〇
最低	二、二	──	二、四	二、六

であつて實際貸出に對しては條件によつて幾分の手心が行はれてゐるが、大體左の標準金利を基調とするが、本年はこれより幾分の昂騰を招來するであらう、さらに銀行は貸出に對しても選擇を行ふべく見られ既に昨今市中銀行では長期の貸出は絕對に手控へ、擔保貸に對しても餘程の手心を加へてゐるから **例へ短期** の特產資金といへども警戒的方針に出づる模樣である、しかし本年一月から六月までの特產資金貸出狀態を見れば寧ろ昨年より金銀共に增加の傾向にあるが、金解禁の時期が最近の如く濃厚化して來た以上、從來より幾分引締てゆくであらう、試みに大連組合銀行の昨年中特產資金貸出高を示せば左の如くである(單位千圓)

	金勘定	銀勘定
一月	三五、〇四七	三、五三〇
二月	三七、〇一〇	五、四六六
三月	一九、一六九	五、六二九
四月	一八、七八六	六、〇四一
五月	一八、〇八八	四、四四一
六月	九、五〇九	二、八六八
七月	二、八五五	一、四九九
八月	三、三五六	一、〇六六
九月	六、一三八	一、〇〇三
十月	七、四〇六	一、六〇七
十一月	八、五五五	三、八三三
十二月	三七、一〇八	五、四〇七

即ち本年は左の範圍に於て貸出されるものと見られてゐるが、北滿 **露支紛爭** の未解決で本年特產出廻りは例年より遲延を來すものと觀測さる

未曾有の上陸演習

來月擧行さる

【東京十五日發電】來月二十一日より二十七日迄北九州及び山陰地方で擧行される陸海軍共同上陸演習に於いて、陸軍側統監部では上陸軍第十二師團に對し單に一般方略を與へるに止め上陸地を指定する事なく自由に上陸地點を選ばせる事となり、何處で上陸作戰が行はるゝや統監部も豫知し得ぬ次第で、斯る上陸演習は未曾有の擧である事とて陸軍部內では本演習の成果に就き多大の注意を拂つて居る

樞密顧問官は補充を先きに

【東京十五日發電】樞府顧問官補充問題に就き最近政府の諒解運動功を奏し、大體增員問題と補充問題を切離し先づ補充問題を先にすることになつたが、補充二名に就いては政府側よりは岡田良平氏を樞府側からは財界の元老澁澤榮一子を推薦するに決せるもの〻如くで澁澤子に就いては子が之を拒絕せぬ限り實現するであらうと觀られて居る

商議補助金增額

豫て奉天商工會議所より申請中の同會に對する關東廳の補助金一千圓增額の件に關しては其の後財務課に於て考慮中であつたが、最近大體に於て增額することに決定したので本月末頃は正式指令が出るものと豫想されてゐる

英首相令息渡日

【サザムプトン十四日發電】英首相マクドナルド氏令息マルコーム・マクドナルド氏は十四日太平洋調查會出席のイギリス代表と共に日本に向け出發した

人事

▲梅津理氏(滿鐵上海事務所長)十五日入港奉天丸にて來連ヤマトホテルへ

安樂椅子

米國コロラド州デンヴァー市の公園で毛氈のやうな青草を敷詰めた小丘の上。西にロッキー山脈を見晴らして古代ギリシャ式講堂が建設されて▲講座の開始されるのは夜の八時、總長シドニー、ホイップル教授が登壇して講師を紹介する。講師はコロラド州內各教育機關に教鞭を把る錚々たる學者ばかりである。講義の種類は化學、地質、天文等一切を網羅するが民衆教育が主眼だから極めて通俗を旨とする▲學生はモボ、モガ、お內儀さん、サラリーマン勞働者、婆アさん、爺さん、一向に資格を問はない。犬や赤ん坊を連れて入つても靜肅を保つて居る限り敢て入場を拒まない。月謝は勿論取らないし退屈したら授業中に退却しても決してお小言を頂戴する心配はないのである▲おまけに草原に寢轉んで煙草を喫ひながら講義を聽いても關はぬといふので學生連は大喜び▲この絕對自由主義をよいことにして後ろの席で甘い囁を囁く大それた連中もあるとのこと。

二百米リレーで滿洲新記錄を作る
神宮競技大會に出場する女子選手
昨日の水泳記錄大會

明治神宮競技會第二部（水泳部）に送られる全滿女子水泳選手權を得た人々を中心とした水泳レコード會は、十五日午後二時半から大連運動場プールに於て開催されたその結果は左の通りであつた

△男子四百米自由型 一等永田六分八、二等小田、三等木村
△男子五十米自由型 一等柳井二八秒八、二等小里
△女子五十米第一回自由型 一等越智四〇秒、二等杉山、三等島田
△同第二回 一等下村三六秒七、二等三村
△男子二百米平泳 一等早川三分二六秒、二等關原、三等金光
△男子二百米自由型 一等里木二分三五秒八（滿洲新記錄）二等馬場、三等木村
△男子百米背泳 一等小里一分三三秒八、二等松
△男子百米自由型 一等永田一分十秒四、二等唐澤、三等片山
△女子二百米リレー（三村、越智、下村、吉井）大連チーム二分三七秒（滿洲新記錄）

これは明治神宮第二部（水泳部）へ出場する選手達であつて、このチームは全國より參加する二百米リレーの中では優勝するものと見られてゐる、個人で云へばラストの吉井が三十七秒であつたが、他は常より落ちてゐるので豫定のレコードをつくることが出來なかつた、しかし從來のレコード二分四二秒を遙かに破つてゐる

▲男子八百米自由型 一着黑木十二分六秒六（滿洲新記錄）二等史、三等小田
▲女子百米自由型 一等吉井一分二十九秒（滿洲新記錄）二等下村、三等越智

二對一にて隆華軍敗る
京城帝大との蹴球戰

京城帝大對中國隆華蹴球團の蹴球戰は大連運動場豫備グラウンドに於て十五日午後四時半朝倉氏レフエリーとなり、城大のキックオフにて開始されたが、戰前兩軍中央に整列し兩軍主將は握手を交し、主催者側の挨拶があつて開始午後六時終了、二對一にて城大の勝利に終つた、試合經過左の如し

【前半】隆華軍は風を利用して最初より城大のゴールを襲ひ、城大又ライトウイング李の健脚によつてしばしば隆華のバックをついたが試合開始後二十分隆華軍はゴールキーパーの豫備に乘じてオールアタックを試み、ライトウイングのパスを受けたレフトウイング陳のシユーと成つて一點、其の後双方守備堅く、混戰となつてハーフタイムに至る（得點隆華一城大零）

【後半】風が落ちた事とグラウンドになれた城大軍終始隆華軍のゴール前に迫つた、後半開始後十五分バックのロングシユートを受けたレフト、インナー朴が單身ドリブルしてコーナーより送つたシユートをキーパー耿はよく受けたが城大のフオワード、オールアタックして押込にて一點、隆華は其の後しばしば城大のゴールを襲つたがバツクメンの連絡とシユート調子よく遂に二十五分再び城大軍隆華のゴール前に迫りセンター兒玉のショートパスを受けたレフトインナー朴のシユート成つて又一點、其の後城大は尚敵のゴールを壓しばしばゴールへシユートを送つたが遂に成らず、混戰裡にタイムアップとなる（得點隆華一城大二）

【審笛】グラウンドのコンデシヨン惡く、加ふるに風強き爲め、パス、シユート共に意の如くならなかつたのは遺憾であつた▲前の對早大戰の時に於ても感じた事だが中華青年團と隆華蹴球團とを問はず中國人は各々のプレーにのみ走るが、作戰上全く非科學的である▲城大軍にしても其の點は缺點である、唯センター兒玉君が常に確實なパスをして居た▲城大フオワード、ライトウイグ李君はシユートがシユーアである事と身體の動きにスピードがある事で光つて居たが、餘り深くドリブルンすぎる樣な氣がした▲明日は午後四時より大連運動場で城大對中華青年團蹴球戰がある

隆華
家美仁林連永平雲山昌華
梁成岡鴻寶鵬成鴻青義鬼
陳馬鶚王郭張李王羅劉耿
W I F I W H H H F F K

城大
護祐玉說菜春俊卿枯鐵卿
池致鐘昌基益永英延文
盧朴兒尹李柳趙金林李金
L L C R K L C R L R G

全滿都市對抗野球大會
3—2
長春軍健鬪し惜くも敗る
對大連滿倶戰にて

全滿選拔都市對抗野球大會第一日十五日の第二回戰大連滿洲倶樂部對全長春野球戰は午前に引つゞき正十二時より中央公園滿倶球場で擧行、球審宮武、壘審安藤（第一）田中、長春先攻、試合經過及びメンバー次の如し

回數	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
長春	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
滿倶	1	0	0	0	0	1	1	0	A	3

△第一回 長春三者凡退▲滿倶吉野、井上四球に出で長澤の犧打に進壘し、片岡右犧飛して吉野生還、濱崎四球綠川三飛
△第二回 長春川上の二直を永澤美技で喰止め走者なし▲滿倶永澤四球に出たが二盜に死し（長春大藤退き高橋投手となる）青山の左前安打せしめ後援なし
△第三回 長春久保田四球に出たのみ▲滿倶二死後片岡四球を得たが濱崎右直
△第四回 長春走者無く▲滿倶綠川二壘右安打永澤のバンドと青山の三飛に三進疋田三飛
△第五回 長春川上遊飛、小野最初に一點二壘打し、久保出四球捕手一壘に牽制惡投して走者二三進、藤戸一――一後絶好の二前バント安打に小野生還、久保田は三壘を走りすぎて挾殺されたが藤戸三進高橋遊飛で藤戸生還、高橋三振したが長春一點を勝ち越す▲滿倶吉野二飛安打井上捕前バント安打、長澤の投偷吉野を封殺片岡右犧飛して走者二三進したが濱崎捕邪飛して得點なし
△第六回 長春一死後中川四球（代走藤戸）に出たが牧の三飛で二併殺▲滿倶綠川二壘左安打で二盜永澤の右飛後青山の一二間安打に生還し右翼の返球捕失で青山二進疋田二越テキサス吉野の三飛は青山を井上の二飛は吉野を封殺滿倶一點を入れて同點となる
△第七回 長春（滿倶青山退き山口投手となる）久保田の一直も疋田ヂャムプして好捕 走者なし▲滿倶長澤左前安打（代走綠川）で二盜し濱崎の投僴で三壘に走つたとき一壘手の投球走者に當つて外野に轉々して綠川生還滿倶漸く一點の勝越
△第八回 長春（滿倶井上退き綠川左翼宗疋中堅に入る）三者凡退▲滿倶永澤遊撃右の安打山口三振後疋田四球につづいたが吉野の左飛は二壘を走りすぎた永澤と併殺
△第九回 長春小幡投僴中川四球牧の遊僴中川を封殺川上遊僴トンネルで牧二進したが、小野投飛し三A對二長春善戰して遂に敗る、時に午後一時五十分

長春（先）
香幡川　牧　上野田戸藤橋
淺小中　川小久藤大高
中遊捕一右二左三投投
29 2 0 9 3 2 2 1 0 0 4

大連（倶）
野上正澤岡崎川澤山口田
吉井宗長片濱綠永青山疋
三左中遊捕右左二投投一
27 9 4 1 6 2 3 0 0 0 10

【戰評】青山この日もピンチに際して球が荒れ山口にプレートを讓り三對二で滿倶は長春に勝つたが、此の結果はむしろ長春の健鬪を祝すべきか▲滿倶は毎回走者を出してゐたがピンチに際し高橋投手のアウトコーナーにかゝる見事なカーヴを見逃し常にバツター、イン、ザ、ホール（打者不利益）の狀態となり兎角ボールに手を出しすぎて遂に三點に喰止められた▲長春は實際氣持のシツクリと合つた好いチームであつた、惠まれた唯一の機會に見事二點を占めた腕前はチームが團結の賜であつた▲滿倶この日の蠢りはシャープな處が全然姿をかくしてゐた

接戰十二回
撫順軍勝つ
六對二で旅順軍に

長春對滿倶の試合に引つゞき全旅順對全撫順戰は午後三時より開始補回ゲームの末六對二にて全撫順勝つ、閉戰五時十五分球審田村、壘球疋田、村上、撫順先攻試合經過次の如し

回	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	計
撫順得點	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	4	6
旅順得點	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2

△第一回 撫順尾崎右前安打岡田に送られたが野原遊直で併殺▲旅順三者凡退
△第二回 撫順今里兄の安打あつただけ▲旅順走者無し
△第三回 撫順一死後森川右直失に出たが二盜に死ぬ▲旅順水野三僴暴投で三進したが野上の二飛で併殺
△第四回 撫順三者飛球に了り▲旅順二死後千田右中間安打したが有川弟遊飛
△第五回 撫順一死後今里兄左翼線に三壘打し萩原とのスクイズ成つて生還隅野三僴▲旅順三者凡退
△第六回 撫順一死後尾崎三僴一失に出たが一二間に挾殺され岡田の遊僴失も野原遊僴で空し▲旅順二死後有川兄左翼に二壘打し池江遊僴一失で三進したが千田三僴
△第七回 撫順今里弟死球を利し渡邊のバント投飛となつたが今里兄四球萩原左中間安打して今里弟生還し今里兄三壘に萩原は二壘に據る、然し隅野投僴森川中大飛▲旅順有川弟二壘安打村上遊越安打して有川弟三進村上二盜の時捕手高投して有川生還して村上三進古賀も中前テキサスして村上生還後援續かなかつたが同點となり試合は白熱する
△第八回 兩軍凡退
△第九回 撫順二死後今里弟三遊間安打したが萩原の中堅快打も美技に空し▲旅順走者無く遂に補回戰に入る
△第十回 撫順森川三遊間安打（代走萩原）したが二死後岡田のサスール頭原の遊僴で封殺▲旅順水野中前テキサス頭原二盜に死ぬ
△第十一回 撫順二死後渡邊二飛失に生きたが二盜成らず▲旅順一番打者以下凡退
△第十二回 撫順今里兄三遊間安打萩原バント安打隅野もバントして走者二三進森川の三僴失で今里兄生還尾崎は三遊間安打して萩原も生還森川尾崎二盜岡田一二間を拔いて森川尾崎生還後援凡退したが勝敗は既に決す▲旅順有川弟遊飛村上三振古賀二僴し旅順建鬪の末敗る

旅順
兒江田弟上賀野原上
有池千有村古水頭野
右一捕遊左二三投中
42 6 0 5 0 1 5 1 0 0 4

撫順（先）
崎田原弟邊兒原野川
尾岡野今渡今荻隅森
左中遊二捕三右投一
44 10 3 3 2 3 2 0 1 0 7

【戰評】旅順軍は良く戰つたが然し結局今日の敗北は致し方あるまい、寧ろ實力以上の健鬪を賞されて好いだらう▲兩軍共に打擊は振はず工大無四球撫順二四球は投手の好投と言ふよりも打者の選球の粗雜と言ふ方が適當と思ふ▲殊に撫順は最初より得點をあせり變化のない素直な頭原の投球に對し打ち氣に出て盛んに惡球に手を出ししかも打氣に出ながら球口のミートが足らず思はぬ苦戰を續けてしまつた亦十回隅野が安打に出た時森川がバンドをせずして打つて出た事もゲームを延長させた原因となつた▲旅順は流石に學生チームらしい元氣なプレーと肩の良さを示し撫順では今里兄の快打（四安打）野原の好守が光つてゐた▲旅順の全體的にバツトを前に出して打つ打法に對し隅野がスローボールを用ひたのは好い

今日準決勝戰

全滿選拔都市對抗野球準決勝は十六日午後零時半より滿倶球場にて左の組合せにて開始される筈
全四平街對大連滿倶、大連實業對全撫順

全國中等校の陸上競技會盛況
好晴に惠まれた二日目
埼玉師範終に優勝

【東京十五日發電】第十五回全國中等學校陸上競技選手權大會第二日は十五日午前九時より神宮競技場に開かれ、好晴に惠まれ新記錄續出した、新記錄及び決勝一等左の如し
△百十米高障碍準決勝吉岡（島根師範）十六秒三（大會新記錄）
△百米準決勝一着吉岡（島根師範）十秒九（大會及中等學校新記錄）
△二百米低障碍準決勝吉岡（島根師範）二十四秒八（大會新記錄）

決勝の部
△千五百米一着近藤（濱松師範）四分廿三秒
△百十米高障碍一着吉岡（島根師範）十六秒四
△百米一着吉岡（島根師範）十一秒二
△四百米一着村上（青森商業）五十三秒（大會新記錄）
△圓盤投一等吉澤（埼玉師範）三十六米〇五
△八百米一着岡本（濱松師範）二分七秒四
△五千米一着廣川（新潟師範）十七分四秒四
△二百米一着吉岡（島根師範）廿二秒（大會新記錄）
△二百米低障碍一着吉岡（島根師範）廿五秒
△千六百米リレー一着青森商業三分四十六秒四
△三段跳一等齋藤（千葉師範）十三米五一
△槍投一等國井（岐阜府中）四十九米八五
△走巾跳一等杉田（清見潟商業）六米七七

最後に午後五時二十分より總得點四十六點を得た埼玉師範に對し優勝旗授與ならびに各種目優勝校に優勝牌を授與され午後五時三十分盛會裡に閉會された

日本寺院をパリに建立
レ教授の奔走で

【パリ十四日發電】東洋學者としての世界的權威者であり曾て東京の日佛會館長たりしフランスの語學者シルバン、レヴイー教授は豫て日佛兩國政府の同意を得てパリに專ら佛教研究のため日佛學館の設立に奔走中のところ、十四日同氏の發表によれば佛政府は右會館及び日本寺院建立の爲め土地を與へ其の他の經費は日本から出て建設される事になつたと

滿洲寫眞美術展覽會を開催

滿鐵情報課では既報の如く今回內地より寫眞術の大家七氏を招聘するが、これを機會に滿洲寫眞聯盟が組織され本年より滿洲寫眞美術展覽會はこの聯盟の名によつて行はれる事となつた、なほ本年の同展覽會は聯盟組織記念と寫眞師の歡迎會を兼て來る二十八、九の兩日三越樓上に於て開催される、出品締切は九月二十日、受付所は佐野、櫻詰、木村、櫻村の四寫眞材料店であると

洋服代金を橫領

大連紀伊町三一洋服商佐久間誠かた外交員植出穗積（三〇）は前後數回に亘り洋服代金九十九圓八十錢を橫領し酒色のため費消した事發覺十四日夜大連署に檢擧された

子供帽子講習會

滿鐵家庭研究所ではいづれの家庭にもある端切れを使つて、氣のきいた子供帽子を作る講習會を左記によつて開くことになつてゐる、希望者は至急申込まれたいと
一、時日 九月十七日より三日間毎日午前九時より午後三時迄
一、講師 元東京オリエンタル技師船谷勝昌氏
一、會費 一圓
一、準備品 錦紗、友禪、ショール半襟等の端切れ、鉛筆、ノート、針、糸、鋏

子供を轢く
龍飛自動車

十五日午後二時三十分頃市內山縣通り二十番地龍飛タクーシ運轉手牛光和は二四〇號自動車を操縱し老虎灘に行く途中、潮見橋際に遊戲中の潮見臺十番地岩本一郎（二）を轢き右脚下肢を骨折し被害者は直ちに大連醫院に擔ぎ込まれた

大連川柳會

白頭家同人の中野柳陽氏が今回奉天から大連に轉任して來たのでその歡迎會を十七日午後七時から滿洲土木建築協會樓上で開催すると

運動畫報

隆華軍對京城帝大軍の蹴球戰（上）と大連水上記錄大會（下）

勳章事件に鑑み
總裁の人選に深甚の注意を拂ひ
勳章は造幣局で製作

【東京十五日發電】世人を驚愕せしめた勳章疑獄も天岡前賞勳局總裁の收容によつて一段落の形であるが、茲に問題は天岡氏が總裁として在職二ケ年中勳記に署名せるもの約二萬人分に達してをり、叙勳の光榮に浴した人々の內には勳記が天岡氏の署名のある爲め何んとなく穢された樣な感があるとの考へが抱かれ此の「天岡直嘉」の名を何んとかして消す事は出來まいかとの希望者少くない事で、天岡氏の行爲に對する司直の裁斷が決定すると共に更らに具體化するものと見られてゐる、當局もコウした事の民心に及ぼす影響に就き非常に苦慮して居るが、政府の意嚮としては今回の疑獄は總裁の人選を過り勳章製作を民間委せにした事に基因して居るので、今度總裁の人選に深甚の注意を拂ふと共に勳章の全部を大阪の造幣局で製作する事にする模樣である

慶大再勝
對帝大二回戰

【東京十五日發電】六大學リーグ戰慶帝二回戰は十五日午後三時神宮球場で天知橫澤兩審判の下に帝大先攻にて開戰し帝大一回に二點を先取し四回一點加へ計三點に對し慶大は六回に三點を返し更に七回四點をリードし八回に二點を加へ結局九アルファー對三で慶大再勝し同四時五十分閉戰した
バツテリー帝大 古館、遠藤、小林、慶大 塚越、上野、岡田、川瀨

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
帝大	2	0	0	1	0	0	0	0	0	3
慶大	0	0	0	0	0	3	4	2	A	9

早法第二回戰

【東京十五日發電】六大學リーグ戰早法第二回戰は午後零時廿八分神宮球場に於いて新田（球）橫澤（壘）兩審判の下に早大先攻に開始し一、二回兩軍共點をなさず三回に法政一點を先取せしも後續かず早大は四回に七點を得て結局七對一で早大再勝し閉戰同二時廿五分、バツテリー早大松木、多勢、伊丹、法政田村、若林、田坂

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
早大	0	0	0	7	0	0	0	0	0	7
法大	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1

けふのラヂオ

昭和四年九月十六日（月曜日）
自午前十一時 相場（特產、錢鈔、株式、各地相場）
自午後〇時三十分 相場（特產、錢鈔、右地相場）ニュース
自午後三時三十分 相場（特產、錢鈔、株式、各地相場）ニュース
自午後七時
一、ニュース
二、露語講座 第十八課 大連語學校 グロースマン
三、義太夫 御所櫻三段目 慶慶上段の使 太夫岡崎喜鳳 三味線竹本佐太夫
四、箏曲 秋の曲 唄福永大勾當 琴森川とし子、尺八小笠原米山
五、落語 代り目 柳家三太樓
六、料理獻立
七、天氣豫報
八、ラヂオ體操

満日地方版

奉天

地委選擧運動愈よ白熱化
末光源藏氏勇退説に 議長候補として上田氏有力

地方委員選擧期日の切迫と共にその運動は益々熾烈となつて來るが十四、五の兩日は奉天神社の秋祭りのため一息入れ十六日から愈々最後の猛烈な火の手を加へるであらうと云はれてゐる、然る處既報の如く憂色を傳へられてゐた末光源藏氏は內地より歸奉以來今なほ傍觀の態で全く態度不明であつたが今次は勇退することに肚を極め十六日頃各方面に聲明する筈である、之れがため議長候補として上田秋氏が最適任者として町內會でも推薦すべく準備中であると

奉天神社の秋祭り 大いに賑ふ

奉天神社の秋祭りは愈々十四日から始まつた、前日來市中は七五三繩に國旗、提灯等で飾られ早くもお祭氣分を添へてゐたが、十四日は更に人出多く屋臺も各町を練り廻るなど一層お祭り氣分を增した奉天神社では早朝より神幸祭の式が行はれるや後鉢卷の鯔背な若い衆に擔がれた御輿を奉昇して神社を出で市内を練り總領事館に至る、太鼓の音も市中に響き御輿の金色秋光に映へた、一方神社前は例年通り種々な露店で賑はひ構內では相撲、大弓、鐵道、生花等の催しあり活動寫眞も公開し一層賑はひを呈した

少女誘拐犯人捕はる

天津佛界江河裡居住王貴士の娘王玉針といふ本年十七歳になる少女は同地居住王貴(二)と共に去る八月卅一日來奉し宮島町三番地天聚東に止宿してゐたが、王玉針は王貴に誘拐され奉天に向つたといふので王玉針の兩親からの捜査方手配により奉天署では之が捜査の依頼を受けたので十四日天聚東に止宿中の王玉針を取押へた、十四日奉天署に於て一應取調べの際王玉針は誘拐犯人の虐待を恐れ容易に自白しなかつたが詰問した處包み切れず遂に逐一自白した、一方誘拐犯人たる王貴は九月八日午後二時通州に向け出發し王の妻王氏(二一)も亦外出して不在中であつた

人事

▲畑關東軍司令官　十四日夜本溪湖より來奉
▲野田蘭太郎氏(代議士)　十四日安奉線急行にて來奉
▲乾奉天署長　太田長官出迎への爲め十四日朝遼陽往復
▲下津奉天鐵道事務所庶務長　十三日大連より歸奉
▲クインスライト氏(シカゴ大學教授)　十四日安奉線急行にて來奉
▲入江正太郎氏(滿鐵東京支社長)　十三日安奉線にて來奉同日赴連

町の便り

十三日午後四時ごろ西塔鮮人金某外一名が突然吐瀉したので時節柄コレラ患者ではないかと大騒ぎとなり十四日午前十時檢診の結果、それが陰性であることが判明した

◇

渾河を基點に一キロ六〇〇の撫順線に於て下り線路上にバラスを堆積し列車の運轉を妨害せるを十三日午後四時廿分ごろ百六十七號列車の機關手が發見して幸ひ事なく濟んだ目下犯人捜査中である

營口

市民秋季運動會 愈よ來る二十二日擧行
出場の申込みは今十六日限り

營口全市民秋季運動會を二十二日開會の件につき地方事務所に於て十四日午後二時から開會出席者は松本、野村、乃美各地方委員、後藤、深江、山本、三井の各區長、遠藤書記生、中原警部、田邊郵便局長、多賀驛長、富田營口醫院書記長、岡本地方事務所長、浦生、稲葉各係長、市川憲兵軍曹、鈴木東亞煙草會社庶務主任、河本工務係、井上鑛業部販賣課出張所長小川滿新等の諸氏にして協議の結果、愈々同日に決行することにし、若し新市街に新患者發生等の場合は情況に依り考慮することに決定同三時散會、運動場の施設は十六日から工務係に於て着手するが競技出場申込みは十六日正午まで

強慾な富豪

居住の富豪張陶根、孫にあたる張新方は嚢に馬賊に拉去され身代金牽票百萬元を要求されて居たが、三十萬元にて贖回方交渉したるもまとまらず馬賊等は張が富豪の癖に強慾貪吝にして未だ一回も附近貧民に對して施興したることもないから一文たりともまけることは出來ぬと一蹴されたので愛孫の身の上を氣遣つて居る、しかし村民は何れも彼れの強慾を憎み來り援けんともせず寧ろその不幸を喜んでゐると

乃木將軍追悼會 嚴に執行さる

去る十三日は乃木將軍殉死第十七周年忌に相當するので當地にては午後七時から淨土宗正覺寺に於て追悼會が行はれた最後觀示師の讀經、營口在郷軍人分會副會長の開會の辭ありて講演に移り、鈴山校長の「乃木將軍の人格を偲ぶ」寺尾大尉の「乃木將軍殉死觀」岡松乾丈師の「水師營兩雄會見の所感」等あり同十時閉會來會者百數十名盛況を呈した、因に高木中佐は事故のため出席不能につき代理として寺尾大尉が來營講演した

車馬賃銀公定

營口公安局では市內馬車及び人力車の賃銀の公定なきため、常に乘客と車夫との間に紛擾を釀しやすきにより、管內を數區に分ち乘車賃を公定し各處に賃銀表を立て之を取締る事にした

臨時醫術講習所

市政籌備處では曩に醫術開業試驗を行ひたるところ不合格者多かりしため之等の者に對し防疫醫院內に臨時醫術講習所を設け六ケ月を期限としたる醫術上の知識を授くる事にした

蟹御用心

今は遼河に於ける蟹の盛漁期であるが支那人にして蟹を食したる者にして往々中毒して吐瀉をなし、甚だしきに至りては死に至る者があるので公安局では蟹を食ふ事を禁じたが一般邦人も注意するがよいとのことである

花街水揚高

八月中に於ける花街の水揚高は一萬七千五百七十圓にして武藏野六千五百七十三圓、松月四千四百七圓、品川館二千百四圓、天齋樓二千六十五圓の家一千五百七十七圓にして藝妓三十四名、酌婦二十名である

安東

畑司令官の定期檢閲 馬賊討伐演習

既報關東軍司令官の定期檢閲は十三日朝から五龍背、草河口間で執行された畑軍司令官は十二日夜寺內獨立守備司令官は十三日朝何れも五龍背着安東守備隊は大津隊長守備兵百二十名を引率十三日朝五龍背に向ひ第四大隊其他の特科隊と共に同日午前八時から草河口までの間で守備隊の出動狀況檢閲が行はれたが之は草河口興隆甸縣方面より大部隊の馬賊が來襲しつゝあると言ふ假想の下に寺內司令官統裁山口大隊長指揮でその擊退演習を行ひ畑司令官の檢閲を受けた尙十四日は連山關で第四大隊將校の山地戰術を同じく山口大隊長指揮の下に檢閲を受けた

東本願寺住職

當地東本願寺住職桑門環氏は病氣加療の爲め安東病院に入院中であつたが去る十一日夕より昏睡狀態に陷り翌十二日夜十時五分奇蹟的に南無阿彌陀佛を三度明かに唱へた上入寂した、享年五十四歳氏は明治二十一年上京國學院大學政治經濟科を卒業し大正三年京城別院輪番として渡鮮同四年安東布教所在勤を命ぜられ今日に及んだ人で葬儀は十四日午後四時寺葬を以て盛大に執行された

安義雜聞

廣島市主催の見本展示會は本月二十日大連を振出に奉天、長春を經て來月五、六日兩日公會堂に於て開催されるが廣島市の展示會は當地として初めての開催である爲め各關係商店より多大の期待を以て迎へられて居る

◇

我邦女流經濟學の泰斗として知られた女子大學教授井上秀子女史は滿鐵の招聘に依り沿線各地で經濟學の講演をなしつゝあるが當地へは十六日來安社會係主催で安東俱樂部に於て同夜講演會を催す筈である

◇

當地秋季大掃除は來る二十日より來月七日迄の間全市に亘り擧行する事となつた

◇

十二日午前零時頃鎮山郡站前鳳凰洞金炳龍方に二名の鮮人強盜侵入一名は屋外にて見張りをなし他の一名が屋內に入り金品を強要し主人が應ぜざるは彼は懷中より兇器を取出さんとするので金炳龍は其の瞬間傍らにあつた草刈鎌をもつて矢庭に賊に斬り付けひるむ隙に難なく逮捕した見張番の共犯者は逸早く風を喰つて逃走したので嚴探中

哈爾賓

貨車配給禁止 會頭范氏と會見

哈爾賓日本商工會議所が東支側の貨車配給禁止に關する布告を出したので早速右に對する解禁方を交渉した處未だに何等回答なく加藤會頭は東支管理局長范其光氏と會見し親く其の意見を質し善後策を立てる方針である

避難三氏挨拶

ポグラから避難し無事十二日到着した篠原勝清、宮崎三郎、渡邊四郎の三氏は松島親造氏の東道にて各機關を歷訪し十三日挨拶をした

寛江雜俎

傳家甸及埠頭區の兩總商會は軍隊慰問として六萬元の支出方を命令された外他の團體からは一萬元支出することになつた

◇

昻々溪に駐屯中の胡毓坤第二軍長が「電報代を入金しく云ふので打電することができないから電政局に今後は一切記帳するやうにせられたい」旨張行政長官へ交涉して來た交通及び通信機關は軍事用となれば支拂はなくてよいと考へてゐることは軍隊としては當然らしい。

◇

國民外交協會の十二日傳家甸總商會に於ける大講演會は辯士八名でいづれも討赤排外の言辭をつらね聽衆ともに下るの國士が長廣舌はよかつたが、聽衆が少いのは氣の毒であつた

其他…等は聯合へ聯合されたしと

長春

石碑嶺におけるわが軍射擊事件

既報＝石碑嶺附屬地に於ける支那巡警の我が第三十八聯隊射擊事件については當時我が軍は三百八十名といふ大部隊のことなれば匪賊とまぎらふ理由なく軍當局は激昂の極に達してゐる、日本當局は嚴重抗議するは勿論なるも大體左の如き要求を提出するだらうと信じられてゐる

一、公安局長は齋藤憲兵分隊長並に德野三八聯隊長に對し謝罪すること
二、責任者を處分しその結果を報告すること
三、憲兵分隊長宛て謝罪文を提出すること
四、本件を他分局その他に宣傳し再びかゝる事件を惹起せざるやう警はしめること
五、將來かゝる事件を惹起せる場合は犯人を無斷にて射殺すること

北關夜話

地委改選期も間近かに迫つたのにさつぱり名乘りをあげるものがない▲僅かに得丸、神崎、山下、大浦議氏がある許りだ▲定數にも足りないやうなことは無からうかと心配してゐる向きもある▲もしそうだつたら自治の面目何處にありやだ▲苟くも長春人の爲め寧ろ任せんとするものはどしどし立候補せよ、誰に遠慮がいるものか▲決議權が無ければ鐵だなどといはずに先づ自から委員になつて決議權を得に努力せよ▲尤も地方委員を名譽職か何ぞと心得て聞きわになつて名乘りを擧げ叩頭政策一本で意見も主張もないのに地委にならうといふなら市民はお斷りするだらうテ

永井領事榮轉 墺太利に

約二ケ年餘長春に在勤して幾多の內外問題解決の衝に當つた永井領事は今度の異動で公使館一等書記官に任ぜられオーストリー在勤に榮轉することゝなつた

齋藤事務主任立候補 長春驛から

長春驛から推されて前回の逐鹿戰に打つて出た齋藤事務主任は同僚のすゝめも聽かず再出馬を斷念して居たが、十三日驛幹部は緊急會議を開き協議した結果、地方委員會に代表者を派遣し置くは是非とも必要であり、且つ鐵道思想普及になるので一名立候補させるに決したが部下よりの信任厚く社員の與望を代表し得る適の人物は齋藤氏を措いて他になしとし森田驛長も屢々再出馬をうながしたので氏は再び逐鹿戰場に立つことゝした

鞍山

朝鮮博覽會觀光團 輪組て募集

奉天輸入組合では過回朝鮮博覽會觀光及金剛山探勝團を主催する事となり鞍山輸入組合へも團員の募集方を依賴して來たので十三日から募集を開始したが參加希望者は至急申込まれたいと、因に募集方法は左の通りである

一、見學團を第一班第二班に區別し第一班は博覽會のみの見學希望者を以て組織し第二班は博覽會並に金剛山探勝希望者を以て組織す

二、日程第一班第一日十七日午前九時奉天出發、第二日十八日午前七時卅分京城驛着(京城一泊)第三日十九日午前中市內見學及博覽會參觀(午後卅發)第四日二十日午後十一時奉天着

第二班、十九日午前十時五十分京城驛發、二十一日午前七時五分元山驛金剛山探勝、二十四日午後十一時奉天歸着

遼陽

附屬地の防水計畫 漸く具體化

遼陽を中心とする防水計畫は滿鐵地方部と鐵道部が主となり相當大規模の工事として調査中であるが鐵道部は佐藤支長淸水工作課長の兩氏十四日來遼施工箇所の實地調査に着手地方部關係も此の程見坊所長の出遼後係員の實地踏査あり五年度の追加豫算に計上さるゝ筈である

守備隊演習

鞍山守備隊では十二日陸路經濟坑に行軍同夜は同地華千溝部落に宿營翌十三日早朝摩天嶺附近に於て演習實施同日十五時四十分發列車で歸營した

京都慰問團

京都在郷軍人分會の滿洲駐劄部隊慰問團一行五十名は十四日午後五時着列車で鞍山から來遼した京都府人會は木下梅之助氏寄附の會旗を押立てゝ驛頭に出迎へた

警察署射擊會

遼陽警察署では十二日首山麓陸軍射擊場に於て第二習會(一百米突)を催したが其の成績は左の如し

三十九點黑坂、三十六點菅沼、三十五點齋藤、三十三點中坂、三十二點佐々木三十點中村部長、三十點佐竹▲拳銃三十五點平野、三十五點黑坂、三十點上山

田崎議員慰問

衆議院議員田崎信藏氏は支那駐屯軍を代表して十四日十四時三十七分着急行列車で來遼第十六師團司令部及び步兵隊工兵隊等を訪問慰問する處があつた

人事

▲田島豐治氏(沙河口工場技師長)

撫順

撫順と野球戰

鞍山野球部は十七日撫順軍を迎へて午後三時から滿鐵グラウンドに於て試合する由

貯水池で溺死

十三日午前十一時半頃製鐵所貯水池に支那人男の溺死體が浮び上つて居るを通行人が發見し其の筋へ屆出たが製鐵所の臨時苦力らしく溺死の原因は判然しないが洗濯中誤つて池中に辷り落ちたものだらうと

十三日來遼同夜歸遼
▲杉浦龍男氏(遼陽工場長)　十三日撫順に於ける機關車爆發の實地調査の爲め同地に出張同日歸遼
▲倉水毅志夫氏(同機械工場主任)　同上
▲乾奉天署長十三日關東長官出迎への爲め來遼同日歸奉
▲長山遼陽署長十三日奉天往復
▲松木鞍山署長同日遼鞍往復

保甲團の強盜横行 荷車て強奪

十四日午前二時松田橋支那町公議厚方へ銃器携帶の保甲團の指揮せる十三名組の強盜堂々荷車をひき來襲店員九名に拳銃をつきつけメリケン粉四十六袋その他の金品を掠奪悠々として鼻唄を唄ひ乍ら引あげた同附近商店ではこの事件に怯え時に夜警夫を備入れ萬一に備へてゐる

在郷軍人會で射擊大會開始

在郷軍人撫順分會では十日より守備隊射擊場に於て射擊大會を開始してゐるがその日割その他次の如し

△十五日第一支部から第四支部
△十六日第五支部から第七支部
△十七日第八支部より十三支部

因に距離は三百米突、實彈一人五發、標的は圓頭的、成績に依り入賞者を定む

太田長官巡視

太田關東長官は來る二十一日十七時三十五分小林秘書、西山警務課長、三浦外事課長、久保田駐在武官、中島通譯官等同伴來る二十一日十七時三十五分來撫、炭礦ホテルに投じ翌二十二日露天掘その他を見物、同十二時の列車にて離撫の筈

海老名氏講演

元同志社大學々長海老名彈正氏は夫人同伴十九日午前十一時着炭礦ホテルに少憩午後七時より撫順高女に於て講演をなすと尙夫人もホテルに於て撫順婦人會と懇談會を開く由

開原

近藤鐵嶺領事歸鐵

近藤鐵嶺領事は十四日午後五時半開原より歸開し同日鐵嶺へ

青年團總會

開原青年團にては來る二十日公會堂に於て總會を開催する豫定だと

敗退將棋　讀者日家名　其(三)

【飯塚氏六回勝七回目】

角香交左香落　六段　△飯塚勘一郎
三段　▲志澤春吉

持駒　志澤氏ナシ

【圖は四二銀迄の局面】

九	八	七	六	五	四	三	二	一	
香	桂		金		金		桂	香	一
	飛		銀		玉	銀	角		二
歩		歩	歩	歩	歩		歩	歩	三
						歩			四
	歩								五
		歩	歩	歩		歩			六
歩	歩	角		銀	歩		歩	歩	七
							飛		八
	桂		金	玉	金	銀	桂	香	九

持駒　飯塚氏ナシ

【盤面以下指方】△四六銀▲三三銀△五五歩▲五二金△五八飛▲八四飛△七八金▲四四歩△四八玉▲四三金△三八玉▲六四歩

【對局者の感想】志澤三段曰く五四歩と五筋を受けては三五歩と突出されると玉頭が危いので三三銀と上つて大事を取りました。飯塚六段曰く五五歩と位を取つて置けば敵角の働きが狭くなるだけに惡くはない心算です。志澤三段曰く敵に右筋を突越されてみれば力指しは免れません。八四飛と位を張つて機會を待つた。

【大崎八段講評】下手敵が四六銀と上るを三三銀と受けしは五筋の位を損じてよろしからず。五四歩三五歩なれば同歩同銀五三銀三四歩なれば三三歩と頑張して四四銀と交換を挑む順に位を爭ふ方遙かに優れり。

愛慾の窓(102)
戸川貞雄作　浅枝次朗畫

結婚(一)

小森英輔は、二、三日の後に迫つた結婚のために、そはそはとおちつかず、幸福な亢奮に醉ひつゞけてゐたのだつた。道樂者の常として、彼も亦女の持つ處女性といふものに、並外れの魅惑をおぼえてゐるのだつたが、突然に急カーブを描いて自分の胸に飛び込んで來た仁科美知子の處女を蹂躙してドン、ファンの惡魔のよろこびを味はひ得たもの、さらにおはつびらであのしとやかな美しさをもつ倭文子の肉體を貪ることが出來ると思ふと、有頂天にならずにはゐられなかつた。彼はその夜珍しくも自分の居間の柔かいソファに長々と身を伸ばしつゝ、倭文子との結婚初夜の情景を幻に想ひ描きみだらがましい獨り笑ひで、濡れた唇を綻ばせてゐるのだつた。

英輔のやうな男には、戀愛も結婚も、男の持つてる獸的な慾情を滿たすための、みだらな饗宴に他ならないのだ——彼はひそかに小間使に運ばせたポートワインの洋盃を唇にしながら、うつとりとなつてゐた。

と、そこへ美知子が訪れてきた。英輔はちらと嫌惡の色をひそめたが、幸ひ父英太は折柄總つてゐる時ではあり、母親の悦服は時折のため外出して不在でもあるので、直さま自分の居間へと通させた。

「……やあ！よくゐらツしやいましたね」

と、英輔はいやに餘所々々しい叮嚀さで美知子を椅子に招いた。

「あんまりよくも伺ひはしませんわ！わたし、あなたに恨みを云ひに來たんですのよ……」

美知子は冷たい一瞥を投げた。

「恨みと仰有ると……？」

英輔はしらじらしく眉をひそめてみせた。

「……恨みぢやありませんわ、おめでとうよろこびですわ！小森さん、お目出度う存じますわ！」

美知子は少し嗄れた聲で云つた。

「わたし今夜は御結婚のおよろこびに伺つたんですの……」

英輔は煙草を口に、さぐるやうな瞳で美知子の青ざめた顔を見た。

「もう知れましたか？」と默つたなあと、彼は僞善になつて「……實は全く默つてゐるんですよ！草野君と倭文子さんの固い關係を口實に、どうかしてこの結婚を中止してしまはうと苦心したんですがね何しろ父は乘氣だし、先方の友永君も夢中だし、もうどうにもならない有樣でね」

「……そんな言譯をうかゞひにまゐつたんぢや御座いません！」

美知子は鋭く遮つた。

「わたしはね、わたしの體はそれぢやどうなるんですかつて、それをうかゞひに來たんですわ！」

「……だから、君の體は勿論僕が永久にお世話をするさ！たとひ結婚したからと云つて、形式だけのつもりさ！僕は君を永久に棄てはしないよ！」

英輔は熟れた調子で云つた。

「……するとあなたはわたしをお妾か何かにして下さるの？はゝゝ！そんな侮辱をわたしが忍ぶと思つてらつしやるんですか？わたしはね、結婚していたゞきたいんだわ！」

「そ、そりやあ無理だ！そりあ無理といふもんだ……」

英輔は狼狽した。

「何が、無理です！何が、無理です！あなたは、はつきりと仰有つたぢやありませんか！この結婚は止めてしまふつて！わたし、あなたに一時のおもちやにされたり、お妾にされたりするつもりで、身も心も許したんぢやありませんわ！あなたは今となつてそんな言を誇示ることが出來るとばかり信じ……わたし、あなたと結婚する……」

て、樂しんでゐたんですわ……」

美知子は聲をはづませながら叫ぶと、兩手で顔を蔽うて、いきなり圓卓子の面に突伏してしまつた……。

新刊紹介

▲最新大日本六法全書(忠誠堂版)三六判の手頃なものである東京神田今川小路二ノ一四忠誠堂發行定價二圓五十錢
▲生活と宗教(九月號)　名古屋中區南久屋町敬愼園書房發行
▲社會科學(九月號)　ボアンカレーの「奇蹟」とその手品鈴木武雄野呂氏の猪俣氏批判の批判矢野論、電力統制論小島精一、辯證法に於ける科學性と實踐三枝博音、谷川氏のマルクス主義文學理論の批判の批判青野季吉文學理論のために三木淸其他資料東京市芝區愛宕下町改造社發行定價一圓八十錢
▲中央佛教(九月號)　東京市牛込區矢來町七其社發行定價三十五錢
▲フイルハーモニー(九月號)　東京府下荏原町中延新交響樂團發行定價二十錢
▲我觀(九月號)　軍事行動の研究長谷川萬次郎その他東京市外中野町上ノ原九三八其社發行定價三十錢
▲社會思想全集(第二十九卷)　第十七回配本でクロボトキンの「叛逆者の言葉」同「近代科學と無政府主義」同「近代國家論」の三篇を收めてゐる東京麴町下六番町平凡社發行
▲現代大衆文學全集(第十八卷)　第一は廿九回、第二は廿一回の配本で村上浪六集で「馬鹿野郎」「稻田一作」「いゝづらもの」「俠骨三人男」を收錄してゐる東京平凡社發行
▲講談全集(第十、十一卷)　第十卷は關取千兩幟元和三勇士荒川一卷は塚原卜傳、南部坂雪の別れ外五篇、勤王烈士、由井正雪外五篇、東京本郷駒込坂下町大日本雄辯會講談社發行
▲新青年(九月號)　西村眞次氏の「人類文化裏面史」牧逸馬氏の「ヤトラカン、サミ博士の椅子」下宇夢野久作氏の「鬼頭夫妻の殺人」へ「ナヤムリ作「死の皮陀兒氏の「鬼頭天妻の遊戯三昧」サツパブ作「ブルドツク」ドラモンド後日譚」其の他「モダン大學」「ジグザグ戀愛記」イカモノ往來「ジグザグ」六ツ(東京市日本橋區本石町三ノ一六博文館發行定價八十錢)

滿洲日報

肉彈大佐 櫻井忠温氏著 將軍乃木

六十版出來

將軍乃木晩年の面影

本書一度世に出づるや注文殺到、爲に凡百の類書忽ちその影を滅す

著者のことば

將軍乃木――いろ〳〵の關係から、私も乃木さんを書いてもいゝ一人だと思つてゐたが、今日までついぞ筆をとらなかつた。といふのは、ありふれた話でなく、もつと立ち至つた乃木さん何か變つた乃木さんを調べてみてゐるうちに、これは一つ自分も書いてみよう、といふ氣になつたのである書いてゐる内に「人間乃木」としての面目が、いよ〳〵ハツキリ浮んで來るのを覺えた。

財界緊縮のこの時身をもつて儉素緊縮生活を體せる人間乃木に學べ

定價壹圓貳拾錢　送料八錢（内地）
寫眞拾貳葉　本文三百餘頁
東京市京橋區南鍋町　振替東京貳六番　實業之日本社

櫻井忠温氏著　土の上水の上（地球周遊記）最新刊　定價貳圓　送料拾貳錢

櫻井忠温氏著　煙幕（戰爭長短四十餘篇）十六版　壹圓七拾錢　送料拾錢

元乃木家家庭教師 芹澤登一氏著　母としての乃木夫人　忽再版　壹圓參拾錢　送料八錢

大原式羽毛蒲團購買會募集

金六圓掛　六ケ月滿了

東洋一の定評ある大原式羽毛布トンは如何なるもの？工場の完備、原料の精撰、技術の優秀は未だ曾て數を見ず輕く暖く保存に使用に簡易消毒完全なる故永久絶對羽虫發生の憂なく至極安心であります

大連市寿城町二丁目七十八番地
營業本店　Ⓣ　大原商會大連支店　電話三六六七番

資本金　壹億圓（全額拂込濟）
積立金　壹億八百五十萬圓
本店　横濱市
支店出張所（東京、東京丸ノ内出張所、名古屋、大阪、神戸、下ノ關、長崎、青島、濟南、天津、北京、漢口、上海、香港、廣東、牛莊、奉天、開原、長春、哈爾賓、浦鹽（一時閉鎖中）、西貢、新嘉坡、蘭貢、カルカッタ、孟買、カラチ、マニラ、スラバヤ、スマラン、バタビヤ、シドニー、倫敦、里昂、紐育、アレキサンドリア、布哇、桑港、ロスアンゼルス、シヤトル、紐育、リオデジヤネイロ、ブエノスアイレス）

横濱正金銀行大連支店

大連市大山通二番地
電話（代表番號 三一六一番　外國爲替直通 四七六二番　預金専用 六〇一五番）

◇內容革新大躍進！

緊縮は陽氣に明るくやれ　醫學博士 新渡戸稻造

緊縮と云へば何んとなく陰氣だが…

自己を正視せよ　實業之日本社長 増田義一

物價は？金利は？證券界は？その總決算は一體どうなる？（澁川生）

▲大景氣の百貨店株研究
▲日本で最初の自動車ホテル
▲會社改名物語
▲夕張炭礦を見るの記
▲椅子とテーブル漫談會
▲重役が犠牲となつた日本石油の未曾有の大改革事件

金解禁はどんな影響をどんな方面に與へる？

時の問題の人

三井三菱の事　名人課長
朝鮮總督の返り咲き秘話
新滿鐵副總裁大平駒槌氏
タガを締る安田の新二常務
霞ケ關の新人　新支那公使 佐分利氏
兩半球に活躍の九十翁二人
昇進の遅きを嘆く青年に　三菱鑛業常務 船田一雄
責任をもつて推薦できる青年　東株理事長 岡崎國臣

毛色變りの保險十五種　日本石油専務 津下紋太郎

漫筆 禿と髭と酒　三銀陶器店主 加藤鎌次郎

不景氣で利用け儲る法

●茶前茶後……（紫城生）
●本年六月全國銀行預金番附
●四十年一業に貫す　東京帽子副社長 土肥修策

●借金と預金
●銀行通信●會社通信
●時代謡　幼稚園
●切符の一生

小僧から東京一の呉服商　白い米が食ひたさに發奮して大呉服商となつた森嶺三郎君

大平洋の各國海運戰　郵船専務 大谷登

懸賞當選 我家で無駄を省いた實話
▲先づ交際費から三分の一
▲安米食が齎した健康と節約
▲一寸した廢物利用の注意
▲いつも新しい着物をきる法

西式強健術と觸手療法（創始者 西勝造）

忙しい人には無二の良法（東株理事 長瀬欽司）

肺病には運動か毒か藥か（矢部博士）

肉食に優る豆腐禮讃（櫻田學士）

價卅錢 送料壹錢五厘　東京京橋南紺屋町 振替東京參貳六番　實業之日本社

正隆銀行

頭取 安田善四郎

三井保險

火災。海上。運送。自動車。

契約高の多少に拘らず御電話あり次第係員參上御相談申上ます

三井物産株式會社大連支店
大連市山縣通一八二番地　電話代表七一〇一番

大連市信濃町岩代町角　電話六四一〇番　三根眼科醫院

ヨードブルトーゼ

病的組織の改善と體質の强實に
虚弱腺病質の方々に奨む

動脈硬化症　喘息　肋膜炎　小兒發育障害　榮養不良　病後恢復期　貧血

半ケ月 二・三〇　一ケ月 三・七〇

大阪市東區道修町　藤澤友吉商店

B―175

蜂ブドー酒

美味滋養―品質本位

仰の通り

ドナタにも美味しく頂ける葡萄酒は―コレです
何方の身體も御丈夫にする葡萄酒は―コレです
どうぞ……毎食前……一杯宛

發賣元 東京本町 近藤利兵衛商店
釀造元 東京 神谷傳兵衛本店

4―82

最新刊

別府重夫譯　廣東から上海へ　實價一圓八十九錢 送料十錢
慈星編輯部著　江戸生活研究 第一輯　實價二圓十錢 送料十二錢
慈星編輯部著　同 第二輯　實價二圓十錢 送料十二錢
高桑義生著　白蝶秘聞 續篇　實價一圓卅六錢 送料十錢
島崎藤村著　藤村讀本 田園 一卷　實價一圓八十九錢 送料十二錢
長谷川伸著　股旅草鞋　實價一圓三十六錢 送料八錢
鎌谷玄耳著　文字及書道　實價二圓六十二錢 送料十錢
佐藤善郎著　株屋五十年と算盤哲學　實價一圓五十錢 送料十錢
朝日新聞社編　變った實話　實價五十二錢 送料四錢
滿鐵調査課著　滿蒙要覽　實價一圓 送料十錢
下村海南著　鯖を讀む話　實價一圓八十九錢 送料十二錢
志村博親著　自動車運轉手須知　實價一圓廿六錢 送料六錢
尾山篤二郎著　歌はかうして作る　實價九十四錢 送料四錢
國木田獨歩著　獨歩詩集　實價七十三錢 送料四錢
松村英一著　理代名家評釋　實價五十二錢 送料四錢
正宗得三郎著　現代名家佛蘭西畫集　實價二圓八十九錢 送料六錢
鳥居素川著　西比利亞から滿蒙へ　實價三圓五十錢 送料十二錢

大連市浪速町　大阪屋號書店　電話代表五六八八　振替大連五五五　本店東京　支店京城、奉天、旅順

最新刊

下村海南著　さし潮ひき汐　實價一圓六十八錢 送料八錢
大佛次郎著　山嶽黨奇談　實價二圓五十七錢 送料十錢
正岡子規著　子規遺話 改造文庫
日本兒童美育會著　小學校の教學　實價一圓五十七錢 送料八錢
小田切信夫著　國歌君が代講話　實價二圓十錢 送料十四錢
松宮隆光著　解析幾何學 問題詳解　實價二圓三十一錢 送料八錢
笠松彬雄著　十八史略詳解　實價二圓九十四錢 送料十二錢
林田寬一著　子供の腸炎疫痢　實價十錢 送料四錢
大塚久著　政略結婚と武將の家庭　實價二圓六十二錢 送料十錢
野依秀一著　和田豊治は語る近世の巨人　實價二圓六十二錢 送料十錢
石井勇義著　菊花栽培秘訣　實價一圓六十八錢 送料十二錢
ションソン、バンヤン著 笹本重雄譯　天路歴程全譯　實價二圓六十二錢 送料十四錢
桃井鶴夫著　正しく覺えられる獨逸文法入門　實價一圓五錢 送料四錢
中村爲治著　ヴイクトリア朝の抒情詩　實價一圓三十六錢 送料六錢
永野末治著　受驗統括活きた代數學問題の王道　實價一圓八十九錢 送料八錢
佐藤惣之助著　新詩集
相馬御風著　義人生田萬の生涯と詩歌　實價一圓八十九錢 送料十錢

大連市大山通　滿書堂書籍部　電話五五一八　振替大連二五三番

英米兩國内交涉後の日佛伊三國との交涉
如何なる形式になるかゞ問題
英米間の懇談内容

[illegible]統領ゝ膝を交へて懇議すべき内容は左の如きものと觀られて居る

一、巡洋艦に關して殘る一小部分 米は八インチ砲を主張し英は六インチ砲を主張してゐる、問題の解決は

一、豫備會議は日、佛、伊を順次別々の内交涉の形式により行ふか又は直ちに日、英、米、佛、伊五國豫備會議の形式を採るかの問題

一、豫備會議の時期及び場所の問題

一、本會議の確定日時期及び場所問題

策を講ずるものと見られ、捗々しき進展は到底見込みなきものゝ如くである

支那側の邪推 日本が露軍を援助すると

露支問題に對し支那側が北滿に出兵するにあたり武裝兵をして長春滿鐵附屬地を通過せしめんとし阻止さるゝや支那側は日本が露國を援助するものであるとなし盛んに惡宣傳をしたが、更に今度は日本は浦鹽に於て千餘名の鮮、華人を募集して戰線に送ること及び白米一萬袋、メリケン粉二萬五千袋、高粱二萬石購入の便宜を與ふる密約をなしたから、今後各種の食料品を賣却するものあるときは嚴重に其積出先を調査すべしと奉天當局から各關係官所に密令を發したと

命令に違背したので辭去し暫時支那側でその職にあることは今日と雖も變りはなく東鐵は露支商業の合辦機關であることに就いては承認するものである、しかし今後の事は交涉の經過にあり明言することは出來ぬと語つてゐるが、今後の露支交涉には今回の國境に於ける衝突の解決はやゝ紛爭の課題となる形勢である

日本斡旋説と支那紙の論調

【ハルビン特電十五日發】露支交涉非公式斡旋が日本政府の手にて行はれることになつたとの風説に對し支那側新聞は半ば沈默を守り其報道を掲げてゐるが一部には「日本が眞に仲介の勞をとることは隣邦として當然である、また北滿に關係を有する一國としては自ら出でゝこれが調停斡旋し早く今回の衝突を解決すべく期したい」と述べてゐる

五ケ國軍縮會議の我國の代表全權
豫備交涉は左近司中將有力
本會議は三巨頭から

【東京特電十五日發】英米軍縮内交涉進展の結果により日英米佛伊五ケ國豫備交涉開催の段取りとなつたが、この豫備交涉は最も重大視せられるもので次で開かれる本會議では豫備交涉で纏まつたものを

條約文に 書換へるに過ぎないものとさへ見られる程で豫備交涉に派遣すべき代表に就ては愼重なる人選を要する譯であるが、その下馬評にのぼる中心人物は、最近軍務局長より軍令部出仕兼海軍省出仕となり軍縮問題を專門に研究してゐる左近司政三中將である、中將は軍政軍事兩方面に於ける

海軍部内 の權威であり人爲重厚一見武人の面影のうちに多分に政治家的見識をもち安心して豫備交涉に送り得る人である、また中將の麾下に軍縮問題を專門に研究する軍人には目下ロンドンに向ひつゝある佐藤三郎大佐あり並の高級副官小牧和助大佐あり、海軍の秀才杉山六造中佐あり

多士濟々 と言ふべきである、而して豫備交涉が幸ひに圓滿解決を告げ本會議開催に際して帝國の全責任を負ふて派遣さるべき帝國全權は果して誰であらうか、一昨年のゼネバ會議には齋藤朝鮮總督の出馬を見たが今回再び子爵を煩はすことは到底不可能で此處に子爵に匹敵すべき貫禄を有する全權を

物色する ときは當然財部海相、加藤軍令部長及び幣原外相の三大人物が數へられる譯である財部海相は三度の大臣を勤めて居り、軍政に通じゼネバ會議の際は海相として軍縮に通曉し、加藤軍令部長は一九二二年の華府軍縮會議に海相加藤友三郎全權の下に海軍側の

專門委員 として内外に驍名を馳せた海軍部内稀に見る名將軍であり、幣原外相は我外交界の先覺者で語學に堪能練達の人、軍縮問題に明るし何れ劣らぬ全權としての適任者である、世界的國際的である軍縮の活舞臺に躍り出で竹帛に其名を止むる幸運兒は果して誰れであらうか、刮目して見るべきであらう

捗々しい進展は望めぬ
◇…露支交涉の前途

【上海十四日發電】國民政府は露支豫備交涉に關する露國側修正案に對し十一日附でドイツ政府を通じ第三次回答を發した事は事實で其の内容は判明せぬが紛爭の起つた會議前に東鐵正副理事長を露國人と更迭せしめよとの露國の要求は協定違反なりとて正式會議で決定すべきを繰返し主張したものと認めらる、之れに對する露國の態度に就いては一方國境威嚇を繼續し支那政局の動搖を觀望し徐ろに[illegible]

反蔣運動と蔣介石氏の對策
先づ東南五省を固む

「樹木風にあたろ」のためしに漏れず、國民政府の實權が蔣介石氏に握られるや、さしもの時めく革命の元勳にも反對氣勢が絶えずどこかで渦を卷く。さきには、對廣西派、近くは對馮玉祥派、閻一派の間を幸運兒蔣介石氏は巧に切り拔けて反對者を封じ込み、世は暫し蔣介石氏の天下と見えたが、其實反蔣運動の根はます〳〵蔓こつて今や全國的に瀰漫の形勢を馴致した。

× ×

今度の反蔣運動の火元は北方將領――即ち馮玉祥、閻錫山、陳調元、方振武氏等とされてゐるが運動の火の手はまださして目立ちはせぬが南支那にまで及び、廣西派[illegible]黨および汪精衛一派の改組派までが仲間入りし、從來各自の立場から個々に反蔣氣勢を揚げてゐたものが、打つて一丸となつた外、新たに蔣介石氏に叛逆りを打つた連中も馳せ參じて、其勢力侮り難いものがある。第一北方將領だけでも上述の顏ぶれがほんとうに團結して當るとなればさしもの蔣介石氏の命脈も風前の燈火である。ましてこれに南方の各異分子が加はるに至つては、正しく一大事である。

× ×

今や全國に瀰る此反蔣氣勢の因つて起るところは、必ずしも一でないが、歸する所は蔣介石氏の獨裁專制が氣に入らぬと云ふにある。其點に於て、改組派、北方將領、廣西派なんど云ふ左右とり〴〵の組合せが一致し得るのである。尤も表看板としては、改組派は革命理論をふりかざして、蔣介石氏の反革命を責め、北方將領連は編遣費の割當不公平および蔣介石、宋子文兩氏の財政壟斷、國帑濫費を掲げてゐる。

× ×

そしてこんどの反蔣運動の仲間に入つてゐるかゐないか知らぬが、最も熱烈な反蔣論者に孫文未亡人宋慶齡女史がゐる。先達て宋子文氏が南京から上海へ逃げて來て辭職騷ぎをやつた時、上海の宋氏邸で、蔣介石、戴天仇、王正廷、宋子文、宋老太々なんどが寄り集つて善後評定をやつた時、宋慶齡太々が出て來て、蔣介石氏以下を一人々々頭からコキ下して痛罵し、さしもの蔣氏も頭を得上げなかつたと傳へられる。更に角反蔣の火の手が案外な所にまで延びてゐることは事實である。

× ×

馮玉祥、閻錫山、陳調元、方振武、王鈞、其他西北將領連名の反蔣通電たるものが出たこと、蔣介石氏暗殺團および南京火藥庫爆發が方振武氏の指金であつたことは既電の如くであるが、此等の北方將領連の結束が果して何處まで進んでゐるかは、未だ秘中の秘として知る由ないが、相當の程度に熟してゐることは最早疑ひを容れぬやうだ。

× ×

なほ先達て傳へられた所によると奉天の張學良氏も反蔣運動に加はつてゐるやうだつたが、今度は[illegible]に上つてゐない。元來張學良氏が反蔣運動に加はつたのは南京政府が東支鐵道問題紛糾に乘じて東鐵の實權を南京政府の手に收め、更に東三省に蔣系軍隊を入れて東三省を乘取らうとする野心があることが判つたゝめだつたが、張學良氏の反蔣派加擔に驚いて、蔣氏は何成濬氏を奉天に派し、東支鐵道は勿論、東三省には絶對手を觸れぬことを保障して、張氏を反蔣派から脱退せしめたのだと説明する向もある。然し張學良氏の眞意は判らぬ。

× ×

此等實力派の策動の外、廣東左派即ち汪精衛、陳公博兩氏等の改組派の策動は毎度のことながら、今度は廣東、香港あたりで大分軍資金を擂つたとやらで、先達てまでは弊衣破帽見るからに氣の毒な有樣だつた左派のお先棒連中が、俄に新調の洋服に紙の先まで光らせてゐる。左派の謀士陳公博氏は既に上海にあり、男勝りで有名な汪精衛氏夫人陳璧君女史は既に香港に乘り込んで夫君に代つて采配を揮つてゐるとのことである。

× ×

而して注目されるのは此の軍資金の出處であるが、それはどうやら廣西派から出てゐるものらしい。廣西派が世にときめく時には廣西派を反革命の罪魁禍首として罵りながら、其の廣西派から軍資金の融通を受けるなどは支那ならでは見られぬ圖である。尤も左派の領袖汪精衛氏は孫文氏在世中孫氏の代表として吳佩孚討伐のため故張作霖氏と款を通ずべく奉天へ出掛けて行つたこともある程なれば「此の道は祖師の遺法なり」とて濟ましてゐるかも知れぬ。

× ×

最後に上述の如く四面楚歌の裡にある蔣介石氏の對策如何は興味ある問題でなければならぬが、今までに知り得た所によると大した奇もないやうである。但し今後如何なる對策に出るかゞ問題である。蔣氏としては對馮問題一段落後、自己の實際勢力を顧みて全部の力量を長江流域下流に集中する方針を立てた。即ち長江以北の地は異分子ばかりで、手の出しやうもなく、折角とつた兩廣も軍隊首領の割據で思ふやうにならず、茲に於てか長江流域下流を完全に自己の掌中に收め置くに如かずとしたのである。長江下流地方と云ふと江西、安徽、江蘇、浙江、それに福建を加へて丁度嘗て孫傳芳氏が據つた地盤である。此内安徽、江蘇、浙江は先づ完全に蔣氏の掌中にあり、多少氣がゝりなのは江西の朱培德氏と福建の楊樹莊氏で、之が處分にとりかゝつたのである。江西は朱培德氏を最近參謀總長として南京に引張り出し江西首席に魯滌平氏を任命して豫定通り一段落を告げ殘るは福建だがこれも大して問題はなささうである。かくて蔣氏は先づ東南五省を固めた上、異分子の刈り取りを始めやうと云ふのである。そしてもう一つの準備は裁兵公債によつて軍資金を作ることである。

今後の交涉紛糾せん
衝突事件で

【ハルビン特電十五日發】對露策に絶對强硬論者の張國忱氏は今回の衝突は勞農側が不戰條約を破壞したもので交戰狀態に入れば責は勞農に在りと例の如く露支交涉は進行中で今は意見を發表する譯にいかぬが、管理局長の職は[illegible]

東鐵督辦後任者
范氏以外に任命されん

【ハルビン特電十五日發】東鐵督辦呂榮寰氏の更迭は時期の問題とされ後任には現管理局長范其光氏の説あるも奉天から別に任命する意圖を有してゐると傳へられてゐる

十一月半より着手の運び
撫順オイルセール事業

【東京十四日發電】滿鐵の撫順オイルセール事業は十一月半より着手の運びとなり、滿鐵の同事業顧問牧野豐助少將は今朝入京し海軍省を訪ひ右報告を爲した

哈市を去る白系ロシア人
東支問題以來俄かに殖える
續々上海米國へ移住

【ハルビン發】東支鐵道問題以來赤白露人のハルビンを去るものが俄に增加した、既に二ケ月間のうちに南下大連又は朝鮮經由で各地に向つたものは一千五六百名に達する、其の六分までは避難の赤系であるかと想ふと反對に白系露人で、彼等の多くが青年であることも亦不思議である、其れはハルビンの地が既に白系露人としての教育を受けるに甚だ不適當となつて來た爲めに金のあるものは米國へ、資産の少ないものは上海へと志すものが多い、其他東支鐵の問題が今後如何に變化して行くか前途に多少の危惧を懷く白系露人で資産を有するものは安全な米國へ移住することを希望するやうになつて來たことも亦著るしい、赤系ロシヤ人に至つては全く今回の露支紛爭によつて一時元山又は敦賀經由で浦鹽に向ひハバロフスク邊で形勢を觀望する避難者であるが、支那側ではこの國際都市を所謂支那式に化して行かうとする政策が東鐵問題から勢ひ濃厚となつて來たことである、其れだけロシヤ人に對する教育制度も變化し小、中學校は第二として高等、專門、大學程度に進んで學ばんとする白系露人には子弟の教育上米國又は上海を選ぶやうになつて來たのである、白系露人の將來に就いてはやがて其の蹤跡を斷つに至るだらうと悲觀するものもある

金解禁に對する滿洲金融界の影響
特産出廻期を控へ注目さる
銀行筋は引締警戒

金解禁に對する滿洲金融市場の推移に就いては特産出廻り期を控へて非常な注目を惹いてゐるが、解禁は最早時期の問題とされ、金融業者は之が準備に腐心してゐる、而して金解禁實行が必然的に金の海外流出を伴ふ以上は、當然今日の

緩漫基調 に變化を與ふることは明かで、その變化の程度は金の流出程度如何にある譯であるが、何れにしても滿洲は内地と事情を異にしてをり、解禁が本年末か來春早々に行はれるものと豫想すれば、丁度特産資金の最需要期に當るから、當然金融の逼迫を來し急激なる金利の昂騰を招來すると見る説と一方解禁により一般事業界、商店界は

一層不振 を加へ、之に伴つて資金の需要は益々減退するから金利に影響なかるべしとの説が最近銀行方面で肯定する向きが多くなつて來た、然し何れにしても今年特産資金の利率は昨年よりは幾分の昂騰は免れぬ模樣にて有力銀行筋ではこの方針の下に目下貸出紹介に應じてゐる、試みに昨年の特産出廻り最盛期たる一月から五月までの市中銀行の

特産資金 標準利率を見れば(單位厘)

	鮮銀	正金	正隆	滿銀
最高	二、三	―	二、六	三、〇
最低	二、二	―	二、四	二、六

であつて實際貸出に對しては條件によつて幾分の手心が行はれてゐるが、大體左の標準金利を基調としても大差なかるべく、本年はこれより幾分の昂騰を招來するであらう、さらに銀行は貸出に對しても選擇を行ふべく見られ既に昨今市中銀行では長期の貸出は絶對に手控へ、擔保質に對しても餘程の手心を加へてゐるから

例へ短期 の特産資金といへども警戒的方針に出づる模樣である、しかし本年一月から六月までの特産資金貸出狀態を見れば寧ろ昨年より金銀共に增加の傾向にあるが、金解禁の時期が[illegible]く濃厚化して來た以上[illegible]り幾分引締てゆくであらう、試みに大連組合銀行の昨[illegible]金貸出高を示せば左の如し(單位[illegible])

月	金勘定
一月	[illegible]
二月	[illegible]
三月	[illegible]
四月	[illegible]
五月	[illegible]
六月	[illegible]
七月	[illegible]
八月	[illegible]
九月	[illegible]
十月	[illegible]
十一月	[illegible]
十二月	[illegible]

即ち本年は左の範圍に[illegible]れるものと見られてゐる

露支紛爭 の[illegible]特産出廻りは例年より遲[illegible]ものと觀測さる

倫敦銀塊相場再び大暴落
大正四年以來の安値

【東京特電十四日發】過般暴落したロンドン銀塊相場は十四日再び大暴落し二十三片十六分の十一と大正四年十月以來の新安値を示した右原因は左の如し

一、日本の金解禁氣構へによる支那人の銀買り鬪買ひ旺盛

一、銀買思惑の目標となつた露支衝突が案外早く沈靜の模樣にあること

一、上海在銀高が昨年に比し激增せること

一、印度幣制改革の結果印度政府が銀の購入を躊躇し却て從來の兌換準備銀の拂下げをなしつゝあること

一、世界的銀産額の增加に反比例し銀の需用減退

一、歐洲大陸筋の銀賣りの繼續されつゝあること

酒類不當課税に抗議

【哈爾賓十四日發電】哈爾賓領事團は輸入酒類に對する從價四割の不當課税に抗議したが更に小麥、麥粉の輸出禁止對策も十六日協議する筈である

增加奏任教諭割當と選定方法
判任教諭陞進を内申

關東廳立中等學校の奏任教諭は今回中學校四名、高等女學校三名、師範學堂二名を增加することに十三日の閣議で決定した結果

多年懸案で あつた校長をのぞく中學校奏任教諭廿三名、高等女學校十一名、師範學堂五名制が茲に實現するに至つた、而して今次增加の奏任教諭は中學校では旅順一中、旅順二中、大連一中、大連二中各一名、高等女學校では旅順高女一名、神明高女二名、師範學堂二名の割でふりあてられるわけで、先般來各校長の手元で調査に基き在校判任教諭中から適任者を銓衡し關東廳學務課に内申中であるが、學校の事情により

これを機會 に校外より右奏任教諭を迎へんとする傾向がないではないが、さすれば現判任教諭一名を淘汰せねばならぬので今回の奏任教諭增員の趣旨を考慮し、現判任教諭中から是非とも選定することになるらしい

排日會に擔がれた役人
南京の不當課税

【上海十四日發電】南京に於ける日本綿布不當課税に關する報道は各方面に重大視されたが、其の後の調査に依れば南京入城税は外人名義貨物には賦課された事なく現今は支那人の貨物と雖も二分の課税を受けてゐるのみである、過般五弗乃至十八弗の不當課税をなしたるは排日會から使嗾された役人の所爲で、財政部の命に依るものでない事判明し當地綿布商の懸念は一掃された

慶應軍先づ帝大を破る
六大學リーグ戰

【東京十四日發電】秋の運動シーズンを飾る六大學リーグ戰はいよ〳〵今日から開始された、正午先づ入場式が開始され、攝政盃の返還式を終へて直に慶帝戰に入る、午後零時五十分慶應先攻橫澤、天知の審判で神宮球場に開始、慶應は一回一點、五回六點、九回三點を得たるに帝大一向に振はず遂に九對零で慶應一勝す、閉戰二時四十五分、バッテリー慶應宮武、上野、岡田、帝大古館、遠藤、小林

早法第一回戰

【東京十四日發電】早法野球第一回戰は十四日午後三時十七分より神宮球場に於て新田、天知兩審判法政の先攻で開始四對三で早大辛勝、バッテリー

法政 鈴木、若林、成田

早大 清水、松木、伊丹、伊達

帝大の學生課で學生の生計調査
專門家の意見も加へ
精密で權威あるものとする

【東京十五日發電】思想問題や學生の紛爭等に關し兎角學生から迫害されてゐた帝大學生課では從來の官僚的思想善導的な態度を改め學生大衆の

福利增進 を基調とする諸種の施設に着手する事となり其資料を得るため十月末日より十一月初めにかけ四五日に亘り法、經、文、理、工、醫、農學部六千の學生の生計調査を行ふ事となつた、即ち學費の收入支出、家族關係家産の狀態、各期授業料納入未濟と其理由希望として如何の學費を必要とせらるゝや、等の項目により調査するもので特に

社會學の 戸田教授、統計學の竹下講師の意見を求め精密にして權威ある調査をなす筈であるが更に第二段として學生用下宿貸間の調査趣味嗜好等調査の筈で其の結果に依つて學生の希望並びに卒業後就職絶望のため左傾思想に趨る者間接には[illegible]速度的に沒落し[illegible]

つゝある地方農村の父兄[illegible]態が窺はれ思想問題に[illegible]的材料となるであらう

安樂椅子

米國[illegible]ヴァ[illegible]詰め[illegible]に[illegible]晴ら[illegible]ヤ[illegible]

野外大學が開かれ[illegible]されるのは夜の[illegible]ー、ホイツプル教[illegible]師を紹介する。[illegible]内各教育機關に[illegible]る學者ばかりで[illegible]は化學、地質、[illegible]するが民衆教育[illegible]て通俗を旨とす[illegible]モガ、お内儀さん[illegible]勞働者、婆アさん[illegible]に資格を問はな[illegible]伴れて入つても[illegible]限り敢て入場を[illegible]勿論取らない[illegible]に退却しても決[illegible]する心配はない[illegible]に草原に寢轉[illegible]ら講義を聽いて[illegible]で學生達は大喜[illegible]主義をよいこと[illegible]

檢擧の手
關西の實業家に

【東京十四日發電】市ケ谷刑務所に收容中の賞勳局總裁、堤代議士[illegible]の三氏は何れも十四日[illegible]事局へ護送されて取調[illegible]事件は檢事局がどれ[illegible]延ばすか不明であ[illegible]の被害を續ける事[illegible]今後は新たなる問[illegible]擧の手が延ばされ[illegible]家其の他に及ぶ[illegible]

教育記念總會準備委員會

滿洲教育二十年記念總會同準備委員會は十七日[illegible]關東廳に於て開會の筈[illegible]夫々内務局長神田會長[illegible]總會當日表彰する教育[illegible]び記念銀杯を贈呈す[illegible]つた

一、總務會(午前十時[illegible])

一、式日並總會に關す[illegible]報告の件

一、式日並に總會日役[illegible]準備委員會(午後[illegible])

一、各係間の聯絡に關[illegible]

一、各係に於ける準備[illegible]の件

御慶事近き 皇后陛下

輕い御散歩と御胎教に謹しみ給ふ

御出産は十月上旬と拜診す

萬般の御準備整ふ

【東京十五日發電】去る三月二十九日宮内省より「皇后陛下御懷妊御三ヶ月に渡らせらる」旨發表されてから八千萬國民が一日千秋の思ひをして御待ち申し上ぐる御出産の御時日も愈々二十日間前後となり、佐藤侍醫頭、磐瀨御用掛、塚原侍醫等屢々拜診の結果、多分十月五六日頃から十日頃の御事と拜診してゐる、皇后陛下には去る十日那須御用邸より還幸の聖上陛下と御ともぐ〱照宮様を御相手に

御靜かな 御日常を送らせ給ひつゝ毎日約一時間乃至二時間の御苑御散歩によつて御出産前の大切なる御運動に代へさせられてゐる、御學問の日課を廢させ給ふた皇后陛下には御散歩の他は新皇子殿下のために御母性としての尊き御胎教にいそしませ給ひ、時としては御自ら天皇陛下の御召物の御手入れや照宮様の御相手となられて宮様が望ませ給ふ數々の御品を長くも親しく御調製あらせらるゝ御事もあり、目下新皇子殿下の

御産衣や 其の他に必要なる御調度品御靜かな御心配りを遊ばさると洩れ承る、明治大帝、帝都を東京に遷させ給ふて以來宮城にて皇子御誕生あらせ給ふのは今回が御初めてゞある、御産室は昨年兩陛下が赤坂離宮より宮城に移御に先立ち御新設申し上げたもので御殿の西北鐵筋コンクリート平家建、中央廊下左側を醫器室、右側を御産殿とし總て洋式を用ひ御室内溫度の調節も自由に出來る約十坪のもの

採光の點 等にまで御簡素ながら最善の注意が拂はれ御準備の萬端は全く整つてゐると拜する皇后陛下が御産氣を御催し遊ばされると直に御産殿に入御あらせられ御産殿には佐藤侍醫頭、塚原侍醫、磐瀨御用掛を初めとして光榮の助産婦梅林寺こう、阪田うめの兩女史それに選ばれた阿部、松本、渡邊、山本、畠、鈴木の六名の看護婦のうち三名が交代で御附添を拜する筈である、而して御産殿に近き控室には一木宮相、河井皇后宮大夫、黑田、岡本の各皇宮事務官以下竹屋女官長等各女官がお控へ申し上げ

御安産の 報を御待ち申し上ぐる、御誕生あらせられた新皇子殿下は直ちに程近い皇子室に御遷へ申し上げる、此の時は既に御内々の御産湯を終へさせられ新皇子殿下は淸々しい白生絹の御産衣を陛下から賜つて召させられてゐる、御生誕の日には其の御産衣の外に更に御調製置きの、月山貞勝の銘ある銘刀一口を賜はる、これは皇子殿下御一世の御守刀となるもので宮中では

『賜劍の儀』 と申し親族令に定められてある嚴肅な御儀である、御劍は一木宮相から御務に添へて鈴木侍從長、河井皇后宮大夫の手を經て竹屋女官長に渡し女官長は皇子殿下の御枕邊に安置し奉る御順序である、宮内省、わけて皇后宮職では連日に亘つて御慶事の御準備萬端を關係各部局と折衝し念には念を入れてゐる、御用意は先年照宮様、久宮様御誕生の際の記錄と經驗とを基礎として作成してゐるが、其の中でも御慶事に際する宮城の

御警衛は 宮城では御初めての事で當局も可なり苦心研究したもので、今月末の三十日から十月五日までを第一期警戒期とし同十日までを第二期、同十五日まで第三期、同二十日までを第四期とし第二期に入ると御常御殿即ち御産殿御警衛として非番の皇宮警手四十名を增員して御警固申し上ぐると共に、平常通行を許されてゐる半藏門、北桔梗門、大手門等の各御門は一齊に閉鎖して只不時に參内される皇族殿下や宮内大官等の爲めに乾、坂下の兩御門を晝夜の別なく開扉して萬一に備へる、斯て當面の

重責を負 ふてゐる佐藤侍醫頭以下各侍醫御用掛、一木宮相、關屋次官、河井皇后宮大夫以下皇后宮職員、女官、鈴木侍從長以下各侍從、同武官等は先例に依ると十日も廿日も宮殿に御宿直しその他の宮内官も凡て足止をなし宮殿と宮内省は擧げて御出産を待ち奉るのである、御出産の際には皇后宮職から省内電話で各所に御報知申し上げ一般國民に對しては新聞紙又はラヂオで、東京市内にはサイレンを以ていち早く知らせることになつてゐる

十四日首山驛南方で守備隊馬賊團と激戰

警察憲兵隊も應援に出動

【鞍山特電十四日發】十四日午後一時首山驛南方部落の王家堡に二百名より成る馬賊の大集團が休憩してゐるとの情報に接した鞍山守備隊は、直にモーターカー及貨物列車にて總出動し目下交戰中である、午後四時現場より彈丸補充を要求し來り相當激しい戰ひを交へてゐる模樣である、尚引續き警官隊も出動した

賊團は二百數十名

附屬地に危險はない

【遼陽特電十四日發】首山驛を南に距る約七町の麥山子附近に十四日午後一時頃約二百名の馬賊晝食中なりと同地駐在巡査より遼陽本署に急報があつたので、警察署では直ちに署員の非常召集を行ひ中村部長以下五名を急派したが更に獨立守備兵十名が賊の動靜偵察中の所賊より發砲されやむなく應戰目下盛んに交戰中にて、場所は南シグナル附近なるが附屬地は危險なしと信じ居れりと、尚守備隊將校より憲兵隊への通報によれば守備兵は交戰の結果彈丸盡きた故補給手配中たるが、賊は極めて優勢で乘馬せるもの約百名、徒歩せるもの百數十名あるものゝ如しとの事に長山署長は廣田、泉兩警部外巡査十數名を隨へ急行したが鞍山警察、遼陽憲兵隊よりも

首山驛からの 通報には

應援隊出動中 である、因に滿遊中の田崎代議士も實狀視察の爲め長山署長と同行首山に赴いた

尚十五日鞍山西方部落藤家堡を襲はんと數日前村長に對し「八十萬元を十五日迄に用意して置け、若し之に從はざる時は全村民を鏖殺すべし」との脅迫狀を發してゐる

大隊長出動

百名を引率して

【鞍山特電十四日發】首山南方部落に現はれた大馬賊團と激戰中の鞍山守備隊よりの情報によると賊は數名の死傷者を出したが尚頑强に抵抗して居る、大石獨立第三大隊長は約百名大隊長引率の下に第十

部落民全部が附屬地に避難

【鞍山特電十四日發】首山南方馬賊團と我が守備隊の交戰地は戰場の如く、部落民全部首山附屬地に避難し大混雜を極めてゐる、聞く所に據ると該馬賊團は十三日夜劉二堡を襲ひ更に十四日夜沙河村を來襲すべくその途中を我が守備隊の爲めに阻止されたものである

秩父宮兩殿下

院展へ御成り

【東京十五日發電】秩父宮同妃兩殿下には十五日午前八時四十分表町御殿を御出門、目下上野美術館にて開催中の院展に御成遊ばされ横山大觀氏等同人の御案内にて場内を御巡覽在らせられ、次で同館別室の構造社展を御覽あり同十一時過ぎ御歸還あらせられた

五列車で交戰地に出動、尚鞍山守備隊の殘留部隊も彈丸と共に臨時運轉の機關車で現場に向ふ、賊の半數は騎馬で沙河村落を襲ふ計畫であつたらしいが、數名の人質を連れてゐると

滿洲寫眞美術展覽會を開催

滿鐵情報課では既報の如く今回內地より寫眞術の大家七氏を招聘するが、これを機會に滿洲寫眞聯盟が組織され本年より滿洲寫眞美術展覽會はこの聯盟の名によつて行はれる事となつた、なほ本年の同展覽會は聯盟組織記念と寫眞師の歡迎會を兼て來る二十八、九の兩日三越樓上に於て開催される、出品締切は九月二十日、受付所は佐野、櫻誌、木村、櫻村の四寫眞材料店であると

3—2

長春軍健鬪し惜くも敗る

對大連滿倶戰にて

全滿選拔野球大會

全滿選拔都市對抗野球大會第一日十五日の第二回戰大連滿洲倶樂部對全長春野球戰は午前に引つゞき正十二時より中央公園滿倶球場で擧行、球審宮武、壘審安藤(第)田中、長春先攻、試合經過及びメンバー次の如し

回數	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
滿倶	1	0	0	0	0	1	1	0	A	3
長春	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2

△第一回　長春三者凡退▲滿倶吉野、井上四球に出で長澤の犧打に進壘し、片岡右犧飛して吉野生還、濱崎四球緣川三ゴロ長春川上の二直を永澤美技で喰止め走者なし▲滿倶永澤四球に出たが二盜に死し(長春大藤退き高橋投手となる)青山の左前安打せしめ後援なし
△第三回　長春久保田四球に出たのみ▲滿倶二死後片岡四球を得たが濱崎右直
△第四回　長春走者無く▲滿倶緣川二壘右安打永澤のバントと青山の三ゴロに三進疋田三ゴロ
△第五回　長春川上遊飛、久保田四球、小野最初に一點二壘打し、久保田四球捕手一壘に牽制惡投して走者二三進、藤戸一——一後絕好の二前バント安打に小野生還、久保田は三壘を走りすぎて挾殺されたが藤戸三進高橋遊ゴロ失で藤戸生還、高橋三振したが長春一點を勝ち越す▲滿倶吉野二ゴロ安打、井上捕前バント安打、長澤の投ゴロ吉野を封殺片岡右犧飛して走者二三進したが濱崎捕邪飛して得點なし
△第六回　長春一死後中川四球(代走藤戸)に出たが牧の三ゴロで併殺▲(滿)倶緣川二壘左安打で二盜永澤の右飛後青山の一二間安打に生還し右翼の返球捕失で青山二進疋田二越テキサス吉野の三ゴロは青山を井上の二ゴロは吉野を封殺滿倶一點を入れて同點となる
△第七回長春(滿倶青山退き山口投手となる)久保田の一直も疋田チヤムブして好捕　走者なし▲滿倶長澤左前安打(代走緣川)で二盜し濱崎の投ゴロで三壘に走つたとき一壘手の投球走者に當つて外野に轉々して緣川生還滿倶斷く一點の勝越
△第八回　長春(滿倶井上退き緣川左翼宗正中堅に入る)三者凡退▲滿倶永澤遊擊右の安打山口三振後疋田四球につゞいたが吉野の左飛は二壘を走りすぎた永澤と併殺
△第九回　長春小幡投手中川四球牧の遊ゴロ中川を封殺川上遊飛ンネルで牧二進したが、小野投ゴロ三A對二長春善戰して遂に敗る、時に午後一時五十分

長春(先)
香幡川　牧　七野田戸藤橋
淺小中　川小久保藤大高
中遊捕一右二左三投投
2 9 2 0 9 3 2 2 1 0 0 4 打數
27 9 4 1 6 2 3 0 0 0 10

大連滿倶
野上正澤岡崎川澤山口田
吉井宗長片濱緣永青山疋
三左中遊捕石左二投投一中

戰評

青山この日もピンチに際して球が荒れ山口にプレートを讓り三對二で滿倶は長春に勝つたが、此の結果はむしろ長春の健鬪を祝すべきか▲滿倶は毎回走者を出してゐたがピンチに際し高橋投手のアウトコーナーにかゝる見事なカーヴを見逃し常にバツター、イン、ザ、ホール(打者不利益)の狀態となり兎角ボールに手を出しすぎて遂に三點に喰止められた▲長春は實際氣持のシツクリと合つた好いチームであつた、惠まれた唯一の機會に見事二點を占めた腕前はチームが團結の賜であつた▲滿倶この日の當りはシヤープな處が全然姿をかくしてゐた

滿洲最初の馬術選手きまる

明治神宮競技會に出場する晴の四名

來る十一月三日東京市外代々木練兵場に於て行はるゝ第五回明治神宮體育會馬術部の選手として滿洲及び關東州より選出すべき豫選競技は既報の如く去る七日午前八時三十分より海城野砲兵第廿二聯隊に於て催された、當日の參加者總計八名で先づ

馬匹を抽籤で 配當し九時より馬術運動から開始十時より障碍物競技に移り十一時終了した成績左の通り

選手長春驛鐵鐵會　清水滋
選手滿鐵運動會馬術　伊藤琴次
準備員同鐵嶺支部　吉九善太郎
同海上乘馬倶樂部　三谷善亮

競技終了後同隊將校集會所に於て各集合乘馬團體と軍隊側との懇談會を行ひ、席上關東州及滿洲各地に散在する十四乘馬團體を系統ある聯盟組織となす件に付發議あり軍部に於ても大贊成の意を表し近く之が具體案を作成主として滿鐵馬術部牧野一男氏が之に當り

軍隊側も援助 する事に決定した、當日豫選競技會の狀況につき委員南砲兵少佐は語る

滿洲から神宮競技に選手を出すとは今度が初めてで參加者は何れも志氣旺盛、殊に當日は雨天後だつた爲め馬足滑倒の虞頗る大なるものあつたに拘らず、人馬一致眼中障碍なく只馬を征服して思ふ存分に活躍せしめた意氣と手と練には欣快を禁じ得なかつた、將來この意氣を以て滿洲馬術界の進展を期し度いものだ

尚榮ある馬術選手として一等の榮冠を贏ち得た清水滋氏は昭和元年京都帝大卒業の法學士で、目下長春驛に日給二圓五十錢の

準職員とし 働いてゐる愉快な青年であるが神宮競技は一面明年米國で開かれる世界オリンピツク大會出場の豫選ともなるので必死の勇を振つて競技する覺悟ですと腕を撫して語つた(寫眞は清水滋氏)

動章事件に鑑み

總裁の人選に深甚の注意を拂ひ

勳章は造幣局で製作

【東京十五日發電】世人を驚愕せしめた勳章疑獄も天岡前賞勳局總裁の收容によつて一段落の形であるが、茲に問題は天岡氏が總裁として在職二ケ年中勳記に署名せるもの約二萬人分に達してをり、從つて勳の光榮に浴した人々の内には勳記が天岡氏の署名のある爲め何んとなく穢された樣な感があるとの考へが抱かれ此の「天岡直章」の名を何んとかして消す事は出來まいかとの希望者も勘くない事で、天岡氏の行爲に對する司直の裁斷が決定すると共に更らに具體化するものと見られてゐる、當局もコウした事の民心に及ぼす影響に就き非常に苦慮して居るが、政府の意嚮としては今回の疑獄は總裁の人選を過り勳章製作を民間委ぜにした事に基因して居るので、今度總裁の人選に深甚の注意を拂ふと共に勳章の全部を大阪の造幣局で製作する事にする模樣である

暴れ馬車

二婦人重傷

十三日午後十時三十分ごろ大連信濃町一二三林木商村井降治の妻イナミ(三)および長女トシ子(一)の兩名は敷島廣場基督教會よりの歸途浪速町と奧町角十字路に客待中の白雲山馬車收容所馭者林長秋(一)の乘用馬車に乘り自宅前まで歸りかけたがこの時曳馬が俄に狂奔し停車しないのでイナミは危險を感じ美濃町八十九番地前で車上より飛降り、トシ子も同町八十五番地前で飛び降りたが、その際イナミは右後頭部を路上に强打し治療約三週間、トシ子も同樣鼻下および右脇その他腰部に治療一週間の各打撲傷及び擦過傷を負ひ唐澤病院に收容應急手當を受けた、尚狂馬は疾走をつゞけダルニー館東詰附近で步道に乘り上げ漸く停車したが、車體の制動機に故障があつた爲め馭者が制止できなかつたものと判明した

使ひと稱し洋服を騙る

稻葉滿洲醫大學長宅一ぱい引掛る

【奉天特電十四日發】十三日午前十一時ごろ當地八幡地八番地滿洲醫大學長稻葉博士宅に年齡二十歲位で事務員風の一邦人が訪れ「學長は事務員がインキを落したので合服を持參せよ」との言傳を口頭で申立て松岡氏の代筆による手紙を差出したので同家では全く之を信じ合服三つ揃を渡した、件の男は更にその足で森重大教授宅を訪れ洋服の提供方を要求したが、同家では「それなら電話をかけて見る」からといはれたに怖氣づき一度出てくると稱し姿を晦ました、盜賊となつて稻葉學長が歸つた際それと判り目下犯人搜査中

日本寺院をパリに建立

レ教授の奔走で

【パリ十四日發電】東洋學者としての世界的權威者であり曾て東京の日佛會館長たりしフランスの語學者シルバン、レヴイー教授は豫て日佛兩國政府の同意を得てパリに專ら佛教研究のため日佛學館の設立に奔走中のところ、十四日同氏の發表によれば佛政府は右會館及び日本寺院建立の爲め土地を與へ其の他の經費は日本から出て建設される事になつたと

發電所の小火

十四日午後四時四十分頃沙河口水源地發電所右側の事務所より出火同五時鎭火したが損害約二、三百圓の見込尚ほ原因は事務所增築工事現場の漏電らしいと

けふのラヂオ

昭和四年九月十六日(月曜日)
自午前十一時　相場(特産、錢鈔、株式、各地相場)
自午夜〇時三十分　相場(特産、錢鈔、右地相場)ニユース
自午後三時三十分　相場(特産、錢鈔、株式、各地相場)ニユース
自午後七時
一、ニユース
二、課話講座　第十八課　大連語學校　グロースマン
三、義太夫　御所櫻三段目還靈上段の使　太夫岡崎富鳳　三味線竹本佐太夫
四、箏曲　秋の曲　唄箏永大勾當　琴森川とし子、尺八小笠原米山
五、落語　代り目　桐家三太樓
六、料理獻立
七、天氣豫報
八、ラヂオ體操

泉正宗